

滿洲帝國鑛業法令及關係命令

滿洲帝國鑛業法令目次

○鑛業監督署ノ名稱、位置及管轄區域	一
○鑛業法	一
○鑛業法施行細則	二
○鑛業法施行細則第二十條ニ依ル鑛業地籍ニ關スル件	四七
○鑛業登録令	六九
○鑛業税法	七六
○鑛業登録税法	七八
○鑛業ニ關スル手数料ノ件	七九
○鑛業法第九條ノ規定ニ依ル國防上必要ナル鑛物ヲ目的トスル鑛業ノ出願ノ制限ニ關スル件	八一
○康德二年勅令第九十一號ノ鑛物ヲ發見シタル者ニ對スル處置方ニ關スル件	八一
○鑛業登録令施行細則	八二

滿洲帝國鑛業法令

康德二年八月一日

勅令第八十五號

第一章 總 則

第一條 本法ニ於テ鑛業ト稱スルハ鑛物ノ採掘及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ鑛物ト稱スルハ金鑛、銀鑛、白金鑛、銅鑛、鉛鑛、亞鉛鑛、錫鑛、鐵鑛、アンチモニー鑛、アルミニウム鑛、ニツケル鑛、コバルト鑛、硫化鐵鑛、クローム鑛、マンガン鑛、蒼鉛鑛、重石鑛、水鉛鑛、水銀鑛、砒鑛、燐鑛、硫鑛、黑鉛、石炭、石油、(含油層ト密接ノ關係アル可燃質天然瓦斯ヲ含ム)、土瀝青、油母頁岩、石灰石、白雲石、マグネサイト、螢石、長石、耐火粘土、重晶石、硝石、石膏、珪石、滑石、石棉及雲母ヲ謂フ

第三條 未ダ採掘セザル鑛物(鑛滓及廢鑛ヲ含ム)ハ之ヲ國ノ所有トス

第四條 帝國人民又ハ帝國ノ法令ニ從ヒ成立シタル法人ニ非ザレバ鑛業權者タルコトヲ得ズ但シ實業部大臣ノ特別ノ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

滿洲帝國鑛業法令

第五條 市街地、鐵道、軌道、道路、水道、運河、河湖、沼池、堤塘、廟宇社寺境內地、墓地、公園地其ノ他ノ營造物及建築物ノ周圍六十米以内ノ地表及地下ニ於テハ所轄官廳ノ許可並所有者及利害關係人ノ承諾ヲ受クルニ非ザレバ鑛物ノ採掘ヲ爲スコトヲ得ズ
所有者及利害關係人ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ズ

第六條 鑛區ノ重複シタル場合ニ於テハ鑛業權者及租鑛權者ハ互ニ其ノ權利ヲ制限セラル

第七條 本法ニ規定スル鑛業權者又ハ租鑛權者ノ權利義務ハ鑛業權又ハ租鑛權ト共ニ移轉ス

本法ニ規定スル鑛業權者又ハ租鑛權者ノ權利義務ハ租鑛權ノ設定又ハ消滅ト共ニ租鑛權者又ハ鑛業權者ニ移轉シタルモノト看做ス但シ鑛業權ノ消滅ニ因ル租鑛權ノ消滅ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 本法ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願セントスル者、鑛業出願人、鑛業權者、租鑛權者、土地所有者其ノ他ノ利害關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第九條 國防又ハ資源保全ノ爲必要アル場合ニ於テハ勅令ヲ以テ地域又ハ鑛物ヲ指定シテ鑛業ノ出願ヲ制限スルコトヲ得

滿洲帝國鑛業法令

第十條 實業部大臣ノ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依ル權限ノ一部ヲ鑛業監督署長ニ委任スルコトヲ得

第十一條 本法ニ於テ實業部大臣又ハ鑛業監督署長トアルハ興安各省内ノ旗制ヲ施行スル地域ニ在リテハ蒙政部大臣又ハ興安各省長トス

第二章 鑛業權

第十二條 鑛業權者ハ鑛區ニ於テ許可ヲ受ケタル鑛物ヲ採掘シ之ヲ取得スル權利ヲ有ス

第十三條 鑛業權ハ之ヲ物權トシ本法ニ定ムルモノノ外不動產ニ關スル規定ヲ準用ス

第十四條 鑛業權ハ相續、讓渡、滯納處分、強制執行、抵當權及租鑛權ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得ズ

第十五條 共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ハ内一人ヲ代表者ト爲シ鑛業監督署長ニ届出ヅヘシ其ノ届出ナキトキハ鑛業監督署長之ヲ指定ス

共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ハ組合契約ヲ爲シタルモノト看做ス
第十六條 鑛業ヲ爲サントスル者ハ願書ニ出願區域ノ圖面ヲ添ヘ實業部大臣ニ出願スベシ

第十七條 實業部大臣出願ニ係ル鑛業ガ公益ヲ害スルモノト

重複スル場合ニ於テ實業部大臣各別ニ鑛業ヲ爲スニ支障アリト認ムルトキハ其ノ重複スル區域ニ付テハ鑛業ノ出願ハ之ヲ許可セズ
第二十三條 前五條ノ場合ニ於テハ同一鑛床中ニ存在スル異種ノ鑛物ハ之ヲ同種ノ鑛物ト看做ス
第二十四條 實業部大臣鑛業出願區域ノ位置形狀ガ鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損スルモノト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ鑛業出願人ニ對シ其ノ出願區域ノ訂正ヲ命ズベシ
鑛業出願人前項ノ指定期間内ニ訂正ヲ爲サザルトキハ鑛業ノ出願ハ之ヲ許可セズ

第二十五條 鑛業出願人ノ名義ハ之ヲ變更スルコトヲ得
鑛業出願人ノ名義ノ變更ハ之ヲ實業部大臣ニ届出ヅルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
第二十六條 鑛業出願人ハ出願區域ノ増減ヲ出願スルコトヲ得

鑛業ノ出願ニ關スル規定ハ前項ノ規定ニ依ル出願ニ付之ヲ準用ス
第二十七條 左ニ掲グル事項ハ之ヲ鑛業原簿ニ登録ス
一 鑛業權ノ設定、移轉、變更、消滅及處分ノ制限
二 鑛業權ヲ目的トスル抵當權ノ設定、移轉、變更、消滅及處分ノ制限
三 共同鑛業權者ノ脱退

滿洲帝國鑛業法令

認ムル場合又ハ鑛業ヲ爲スノ價值ナシト認ムル場合ニ於テハ鑛業ノ出願ハ之ヲ許可セズ

第十八條 同一ノ區域ニ於テハ二以上ノ鑛業權ハ之ヲ設定セズ但シ異種ノ鑛物ニ付各別ニ鑛業ヲ爲スニ支障ナキ場合及第四十二條ニ規定スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第十九條 同種ノ鑛物ニ付同一ノ區域ニ對シ鑛業ノ出願競合シタルトキハ願書發送ノ日時先ナル出願優先ス願書發送ノ日時同一ナルトキハ鑛業監督署長ハ期間ヲ指定シテ各鑛業出願人ニ對シ協議ヲ調ベ届出ヅベキ旨ヲ通知スベシ
鑛業出願人前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サザルトキハ抽籤ニ依リ優先者ヲ定ム

第二十條 異種ノ鑛物ニ付同一ノ區域ニ對シ鑛業ノ出願アリタル場合ニ於テ鑛業監督署長各別ニ鑛業ヲ爲スニ支障アリト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ各鑛業出願人ニ對シ協議ヲ調ベ届出ヅベキ旨ヲ通知スベシ
鑛業出願人前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サザルトキハ願書發送ノ日時先ナル出願優先ス願書發送ノ日時同一ナルトキハ抽籤ニ依リ優先者ヲ定ム

第二十一條 鑛業出願區域出願ノ當時同種ノ鑛物ニ付鑛區ト重複スルトキハ其ノ重複スル區域ニ付テハ鑛業ノ出願ハ之ヲ許可セズ

第二十二條 鑛業出願區域出願ノ當時異種ノ鑛物ニ付鑛區ト

前項ノ登録ハ登記ニ代ルモノトス
登錄ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第二十八條 前條第一項ニ掲グル事項ハ左ノ各號ノ場合ヲ除クノ外登録ヲ爲スニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
一 相續ニ因ル鑛業權ノ移轉
二 死亡ニ因ル共同鑛業權者ノ脱退
第二十九條 鑛業權ノ處分ヲ制限セラレタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業權ヲ拋棄スルコトヲ得ズ
第三十條 錯誤ニ因リ鑛業權ヲ設定シタルトキハ實業部大臣ハ期間ヲ指定シテ鑛業權者ニ對シ鑛區ノ訂正ヲ命ジ又ハ鑛業權ヲ取消スベシ

第三十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ實業部大臣ハ鑛業權ヲ取消スベシ
一 鑛業ガ公益ヲ害スルモノト認ムルトキ
二 第三十條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザルトキ
三 第四十一條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザルトキ
四 第四十二條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザルトキ

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ實業部大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得
一 正當ノ理由ナクシテ鑛業權ノ設定ノ登録アリタル日ヨリ一年以内ニ事業ノ著手ナク又ハ休業引續キ一年以上ニ及ビタルトキ

滿洲帝國鑛業法令

二 鑛業權者第七十八條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザルト

三 鑛業權者第八十一條第二項ノ規定ニ違反シテ鑛業ヲ爲シタルトキ

四 鑛業權者租鑛權者ニ非ザル者ヲシテ鑛物ヲ採掘取得セシメタルトキ

五 鑛業權者鑛業稅ヲ納付セザルトキ

第三十三條 鑛業權ノ消滅ノ登錄アリタルトキハ鑛業監督署

長ハ直ニ其ノ旨ヲ抵當權者及租鑛權者ニ通知スベシ

抵當權者前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ鑛業監督署長ノ指定スル期間内ニ鑛業權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得

但シ第三十條又ハ第三十一條第一號ノ規定ニ依ル鑛業權ノ取消ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

競賣ニ依ル賣得金ハ順次之ヲ競賣ノ費用、抵當權者ニ對スル債務ノ辨濟、鑛業從業者ノ賃金ノ支拂ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス

租鑛權者第一項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ鑛業監督署長ノ指定スル期間内ニ鑛業權ノ移轉ヲ申請シ其ノ許可ヲ受ケテ鑛業權者トナルコトヲ得但シ第二項ノ規定ニ依ル競賣ノ申請ニ依リ鑛業權ノ競賣アリタル場合又ハ第二項但書ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

鑛業權ハ第二項若ハ第四項ノ規定ニ依ル鑛業監督署長ノ指

定スル期間内又ハ競賣者ハ第四項ノ規定ニ依ル移轉ノ登錄

アル迄競賣又ハ租鑛權ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

競賣人又ハ租鑛權者ノ取得シタル鑛業權、鑛業權ノ消滅ノ登錄アリタル時ニ於テ鑛業權ノ移轉アリタルモノト看做ス

第三十四條 前條ノ規定ニ依リ新ニ鑛業權ヲ取得シタル者ハ時價ヲ提供シテ前鑛業權者ガ鑛業ノ爲所有スル建物其ノ他ノ工作物ヲ買取ルベキコトヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前鑛業者ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第三章 鑛區

第三十五條 鑛區トハ鑛業權ノ設定ノ登錄ヲ爲シタル土地ノ區域ヲ謂フ鑛區ハ地表境界線ノ直下ヲ限トス

第三十六條 鑛區ハ單位區域ノ一又ハ單位區域ノ一邊ヲ共通ニシテ相接續スル二以上ノ單位區域ヨリ成ルモノトス

單位區域ハ經度線及緯度線ノ圍ム四邊形トシ其ノ各隅點ノ位置ハ經度及緯度ノ分位ヲ以テ之ヲ定メ相對スル二邊ノ位置ハ經度一分緯度一分ノ差ヲ有スルモノトス

第三十七條 國境線ニ接スルトキ、鑛種ニ因リ特ニ必要アリ認ムルトキ其ノ他已ムヲ得ザル事由アリト認ムルトキハ

前條ノ規定ニ拘ラズ鑛區ヲ定ムルコトヲ得

第三十八條 鑛業權者ハ鑛區ノ合併又ハ分割ヲ出願スルコトヲ得鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セントスル

トキ亦同ジ

前項ノ規定ニ依ル出願ヲ爲サントスル場合ニ於テ抵當權又ハ租鑛權ノ設定アルトキハ抵當權者又ハ租鑛權者ノ承諾及

其ノ權利關係ニ關スル協定ヲ經ベシ

第三十九條 鑛業權者ハ鑛區ノ増減ヲ出願スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル出願ヲ爲サントスル場合ニ於テ租鑛權ノ設定アルトキハ豫メ租鑛權者ノ承諾ヲ受クベシ

減區ヲ出願セントスル場合ニ於テ抵當權ノ設定アルトキハ豫メ抵當權者ノ承諾ヲ受クベシ

第四十條 鑛業ノ出願ニ關スル規定ハ前二條ノ規定ニ依ル出願ニ付之ヲ準用ス

第四十一條 實業部大臣鑛區ノ位置形狀ガ鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損スルモノト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ鑛業權者ニ對シ鑛區ノ訂正ヲ命ズベシ

第四十二條 實業部大臣鑛床ノ位置形狀ニ依リ隣接鑛區ニ掘進スルニ非ザレバ鑛利ヲ保護スルコト能ハザルモノト認ムルトキハ隣接鑛區ノ鑛業權者、租鑛權者及抵當權者ノ意見ヲ聞キ鑛業權者ニ對シ鑛區ノ訂正ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ鑛區ノ訂正ヲ爲シタル鑛業權者ハ其ノ隣接鑛區ニ於テハ鑛利保護ノ目的ノ範圍内ニ於テノミ其ノ權利ヲ行使スルコトヲ得

第四十三條 隣接鑛區ノ鑛業權者其ノ他ノ利害關係人ハ他人

滿洲帝國鑛業法令

ノ鑛區ニ付鑛業監督署長ニ其ノ實地調査ヲ出願スルコトヲ得

鑛業權者ハ自己ノ鑛區ノ境界ニ付鑛業監督署長ニ其ノ實地調査ヲ出願スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル出願人ハ調査ニ要シタル費用ヲ負擔スベシ

第四章 租 鑛 權

第四十四條 租鑛權者ハ鑛業權者租金ヲ拂ヒ其ノ鑛區ニ於テ鑛物ヲ採掘シ之ヲ取得スル權利ヲ有ス

第四十五條 帝國人民又ハ帝國ノ法令ニ從ヒ成立シタル法人ニ非ザレバ租鑛權者タルコトヲ得ズ但シ實業部大臣ノ特別ノ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十六條 租鑛權ハ之ヲ物權トシ本法ニ定ムルモノノ外不動産ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十七條 租鑛權ハ相續、讓渡、滯納處分、強制執行又ハ抵當權ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得ズ

租鑛權ヲ讓渡シ又ハ租鑛權ニ付抵當權ヲ設定セントスルトキハ鑛業權者ノ承諾ヲ受クヘシ

第四十八條 左ニ掲グル事項ハ之ヲ鑛業原簿ニ登錄ス

- 一 租鑛權ノ設定、移轉、變更、消滅及處分ノ制限
- 二 租鑛權ヲ目的トスル抵當權ノ設定、移轉、變更、消滅及處分ノ制限

五

滿洲帝國鑛業法令

三 共同租鑛權者ノ脱退

前項ノ登錄ハ登記ニ代ルモノトス

登錄ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十九條 前條第一項ニ掲グル事項ハ左ノ各號ノ場合ヲ除クノ外登錄ヲ爲スニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

一 相續ニ因ル租鑛權ノ移轉

二 存續期間ノ滿了ニ依ル租鑛權ノ消滅

三 鑛業權ノ消滅ニ因ル租鑛權ノ消滅

第五十條 定期又ハ採掘量ニ依リ租金ノ支拂ヲ定メタル場合ニ於テ租金ガ鑛產物ノ價格ノ變動若ハ租稅其ノ他ノ公課ノ増減ニ因リ又ハ比隣ノ鑛區ニ於ケル租鑛權ノ租金ニ比較シテ著シク不相當ナルニ至リタルトキハ契約ノ條件ニ拘ラズ當事者ハ將來ニ向テ其ノ増減ヲ請求スルコトヲ得

第五十一條 租鑛權者租金ノ支拂ヲ一年以上遲滞シタルトキハ鑛業權者ハ租鑛權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條 租鑛者正當ノ理由ナクシテ租鑛權ノ設定者ハ移轉ノ登錄アリタル日ヨリ六月以内ニ事業ニ著手セズ又ハ引繼キ六月以上休業シタルトキハ鑛業權者ハ相當ノ期間ヲ定メテ事業ヲ開始スベキコトヲ請求スルコトヲ得

租鑛權者前項ノ規定ニ依リ請求ニ應ゼザルトキハ鑛業權者ハ租鑛權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

三 他人ヲシテ鑛物ヲ採掘取得セシメタルトキ

四 鑛業稅ヲ納付セザルトキ

前項ノ規定ニ依リ事業ヲ爲スコトヲ禁止セラレタルトキハ租鑛權ハ消滅ス

第五十七條 第十五條、第二十九條、第三十三條、第三十四條及第四十三條ノ規定ハ租鑛權及租鑛權者ニ付之ヲ準用ス

第五章 土地ノ使用及收用

第五十八條 本章ニ於テ補償金ト稱スルハ對價、使用料其ノ他土地所有者及利害關係人ノ通常受クベキ損失ニ對スル補償金ヲ謂フ

第五十九條 鑛業ヲ出願セントスル者、鑛業出願人、鑛業權者又ハ租鑛權者鑛業ノ出願又ハ鑛業ヲ爲スニ付測量又ハ調査ノ爲他人ノ土地ニ立入ル必要アルトキハ鑛業監督署長ノ認定ヲ受クベシ

前項ノ認定ヲ受ケタル者ハ豫メ土地占有者ニ通知シ他人ノ土地ニ立入ルコトヲ得

第六十條 前條第一項ノ認定ヲ受ケタル者測量又ハ調査ノ爲障礙物ヲ除却スル必要アルトキハ鑛業監督署長ノ認定ヲ受クベシ

前項ノ認定ヲ受ケタル者ハ豫メ所有者及占有者ニ通知シ障礙物ヲ除去スルコトヲ得

第六十一條 鑛業上意迫ノ危險ヲ防グ爲必要アルトキハ鑛業

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

第五十三條 租鑛權ノ存續期間ハ二十年以下トス若シ二十年

ヨリ長キ期間ヲ以テ租鑛權ヲ設定シタルトキハ其ノ期間ハ

之ヲ二十年ニ短縮ス

租鑛權ノ存續期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ

更新ノ日ヨリ二十年ヲ超ユルコトヲ得ズ

設定行爲ヲ以テ租鑛權ノ存續期間ヲ定メザリシトキハ之ヲ

十年トス

第五十四條 前條第二項ノ規定ニ依リ租鑛權者更新ヲ求メタ

ル場合ニ於テ鑛業權者之ニ應ゼザルトキハ租鑛權者ハ鑛業

權者ニ對シ鑛業ノ爲所有スル土地及工作物其ノ他ノ物件ヲ

時價ヲ以テ買取ルベキコトヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ

於テハ鑛業權者ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第五十五條 租鑛權消滅シタルトキハ鑛業權者又ハ新ニ租鑛

權ヲ取得シタル者ハ時價ヲ提供シテ前租鑛權者ガ鑛業ノ爲

所有スル建物其ノ他ノ工作物ヲ買取ルベキコトヲ請求スル

コトヲ得此ノ場合ニ於テハ前租鑛權者ハ正當ノ理由ナクシ

テ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第五十六條 租鑛權者左ノ各號ノ一ニ該當スル時ハ實業部大

臣ハ其ノ事業ヲ爲スコトヲ禁止スルコトヲ得

一 第七十八條ノ規定ニ依リ命令ニ從ハザルトキ

二 第八十一條第二項ノ規定ニ違反シテ事業ヲ爲シタル

トキ

權者又ハ租鑛權者ハ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ鑛業權者又ハ租鑛權者他人ノ土地ニ立入り

リ又ハ之ヲ使用シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ土地占有者ニ通

知シ且鑛業監督署長ニ届出ツベシ

第六十二條 鑛業ヲ出願セントスル者、鑛業出願人、鑛業權

者又ハ租鑛權者ハ前三條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入り

若ハ之ヲ使用シ又ハ障礙物ヲ除却シタルニ因リ所有者及利

害關係人ノ受ケタル損失ニ對シテハ補償金ヲ支拂フベシ

第六十三條 鑛業權者又ハ租鑛權者左ニ掲グル目的ノ爲他人

ノ土地ヲ使用スル必要アルトキハ鑛業監督署長ノ認定ヲ受

クベシ

一 錐鑽孔又ハ坑口ノ開鑿

二 鑛物、土石、爆發藥、用材、薪炭、鑛滓、灰燼等ノ

置場ノ設置

三 選鑛場又ハ製鍊場ノ建設

四 鐵道、軌道、道路、運河、溝渠、管樋、池井、索道

電線等ノ建設

五 其ノ他鑛業上必要ナル工事又ハ工作物ノ建設

鑛業監督署長前項ノ認定ヲ爲シタルハ其ノ旨ヲ土地所有者

及利害關係人ニ通知スベシ

前項ノ規定ニ依リ通知アリタル後鑛業權者又ハ租鑛權者ハ

滿洲帝國礦業法令

其ノ土地ニ關スル權利ノ取得ニ付土地所有者及利害關係人ト協議スベシ

第六十四條 土地ヲ使用スルコト三年以上ニ亘リ又ハ土地ヲ使用スルニ因リテ其ノ形質ヲ變更スルモノト認メラルトキハ土地所有者ハ礦業權者又ハ租礦權者ニ對シ其ノ土地ヲ收用スベキコトヲ請求スルコトヲ得

第六十五條 土地ノ一部ヲ收用スリニ因リテ殘地ヲ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハザルトキハ土地所有者ハ礦業權者又ハ租礦權者ニ對シ全部ノ土地ヲ收用スベキコトヲ請求スルコトヲ得

第六十六條 礦業權者又ハ租礦業者ハ他人ノ土地ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ土地所有者及利害關係人ノ受ケタル損失ニ對シテハ補償金ヲ支拂フベシ土地ノ一部ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ殘地ノ價額ヲ減ジ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生ズベキトキハ其ノ損失ニ付亦同ジ

第六十七條 礦業權者又ハ租礦權者他人ノ土地ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ土地所有者及利害關係人ニ於テ通路、溝渠、塙柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築又ハ修繕ヲ爲スノ必要ヲ生ズルトキハ補償金ヲ支拂フベシ

第六十八條 土地所有者及利害關係人第六十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル後土地ノ形質ヲ變更シ又ハ建物其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物

ニ在ラズ

第七十四條 土地ノ使用ヲ終リタルトキハ礦業權者又ハ租礦權者ハ遲滞ナク土地ノ原狀ニ復シ又ハ原狀ニ復セザルニ因リテ生ズル損失ニ對シ補償金ヲ支拂ヒ之ヲ返還スベシ

第七十五條 抵當權ハ其ノ目的物ノ使用又ハ收用ニ因リテ支拂ハルベキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ債權者ハ補償金ノ支拂アル前ニ其ノ差押ヲ爲スベシ

第七十六條 本章ノ規定ハ水ノ使用ニ付之ヲ準用ス

第六章 礦業警察及監督

第七十七條 礦業ニ關スル左ノ警察事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ實業部大臣及礦業監督署長之ヲ行フ

一 建築物及工作物ノ保安

二 衛生及生命ノ保護

三 危害ノ豫防其ノ他公益ノ保護

第七十八條 礦業上危險ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ實業部大臣ハ礦業權者ニ對シ豫防ノ施設又ハ作業ノ全部若ハ一部ノ停止ヲ命ズベシ

第七十九條 礦業權消滅シタル後ト雖一年間ハ實業部大臣又ハ礦業監督署長ハ前條ノ規定ニ準ジ其ノ礦業權ノ消滅ノ當時礦業權者タリシ者ニ對シ危害豫防ニ關スル設備ヲ爲スベシ

滿洲帝國礦業法令

件ヲ附加増置スル必要アルトキハ礦業監督署長ノ認定ヲ受クベシ認定ヲ受ケズシテ之ヲ爲シタルトキハ之ニ關スル補償金ヲ請求スルコトヲ得ズ

第六十九條 第六十三條第二項ノ規定ニ依ル通知アリタル後礦業權者又ハ租礦權者其ノ事業ヲ廢止若ハ變更シタル爲土地ノ使用ヲ爲サザルニ至リタルニ因リテ土地所有者及利害關係人ノ受ケタル損失ニ對シテハ補償金ヲ支拂フベシ

第七十條 土地所有者及利害關係人ハ礦業權者又ハ租礦權者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

第七十一條 土地ノ使用若ハ收用ニ付協議調ヒ又ハ裁決確定シタルトキハ補償金又ハ擔保ニ付裁決又ハ判決確定セザルトキト雖礦業權者又ハ租礦權者ハ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供シテ土地ノ使用又ハ收用スルコトヲ得

第七十二條 礦業權者又ハ租礦權者補償金ノ支拂若ハ供託ヲ爲サズ又ハ擔保ヲ供セザルトキハ土地所有者及利害關係人ハ其ノ土地ヲ用フルコトヲ拒ムコトヲ得

第七十三條 土地ヲ收用スル場合ニ於テハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ礦業權者又ハ租礦權者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

キコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ハ危害豫防ニ關スル設備ヲ爲スノ目的ノ範圍内ニ於テハ之ヲ礦業權者ト看做ス

第八十條 實業部大臣ハ礦業權者ニ對シ技術ニ關スル管理若ノ選任又ハ改任ヲ命ズルコトヲ得

第八十一條 礦業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ施業案ヲ作成シ礦業監督署長ノ認可ヲ受クベシ其ノ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第八十二條 礦業監督署長必要アリト認ムルトキハ理由ヲ示シテ礦業權者ニ對シ施業案ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第八十三條 礦業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ坑内實測圖及礦業簿ヲ礦業事務所ニ備置キ且其ノ複本ヲ礦業監督署長ニ提出スベシ

第八十四條 礦業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ礦業ニ關スル明細書ヲ礦業監督署長ニ提出スベシ

第八十五條 實業部大臣又ハ礦業監督署長ハ礦業權者ニ對シ礦業ニ關スル報告ヲ求ムルコトヲ得

當該官吏ハ礦業ニ關スル文書物件ヲ檢査シ若ハ坑内ノ全他ノ場所ニ臨檢シ礦業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ罪證ト爲ルベキ文書物件ノ差押ヲ爲シ又ハ坑内ノ全

滿洲帝國鑛業法令

部若ハ一部ヲ封鎖スルコトヲ得

第八十六條 第七十八條乃至第八十五條ノ規定ハ租鑛權ヲ設定シタルトキハ租鑛權者ニ付之ニ適用ス

第七章 裁決、訴願及訴訟

第八十七條 鑛業ニ關スル出願ノ許可若ハ拒否、鑛業權ノ取消又ハ第五十六條第一項ノ規定ニ依ル事業ノ禁止ニ付不服アル者ハ實業部大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第八十八條 鑛業權者又ハ租鑛權者第五條ノ承諾ヲ拒マレ又ハ承諾ヲ受クルコト能ハザルトキハ鑛業監督署長ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付不服アル者ハ實業部大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第八十九條 土地ノ使用者ハ收用、水ノ使用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ鑛業權者、租鑛權者及土地所有者ハ鑛業監督署長ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決中土地ノ使用者ハ收用又ハ水ノ使用ニ付不服アル者ハ實業部大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第九十條 訴願又ハ訴訟ハ裁決書又ハ處分ノ通告書ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ六十日ヲ經過シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得

コトヲ得ズ

前項ノ期間ハ裁決書又ハ處分ノ通告書ヲ受ケザル者ニ付テハ公示ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八章 罰則

第九十一條 鑛業權者ハ租鑛權ヲ有セズシテ鑛物ヲ採掘シ又ハ詐偽ノ所爲ヲ以テ鑛業權ヲ設定セシメタル者ハ三年以下ノ有期徒刑又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

鑛業權者又ハ租鑛權者過失ニ因リ鑛區外ニ侵掘シタルトキハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ場合ニ於テハ其ノ採掘シタル鑛物ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第九十二條 鑛業權者又ハ租鑛權者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第五條ノ規定ニ違反シテ鑛物ノ採掘ヲ爲シタルトキ

二 第七十八條又ハ第七十九條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタルトキ

第九十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第六十條第一項ノ認定ヲ受ケズシテ障礙物ヲ除却シタル者

二 第八十條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 第八十一條、第八十二條若ハ第八十四條ノ規定ニ違反シ又ハ第八十二條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第九十四條 第八十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務ノ執行ヲ阻害シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條 鑛業權者又ハ租鑛權者ノ使用者ノ他ノ從業員其ノ業務ニ關シ本法ノ罰則ニ觸ルル行爲ヲ爲シタルトキハ該行爲者ヲ罰スルノ外其ノ本人ヲモ處罰ス但シ其ノ本人心神喪失者又ハ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者ナルトキハ其ノ法定代理人ヲ處罰ス

第九十六條 法人ノ使用者ノ他ノ從業員法人ノ業務ニ關シ本法ノ罰則ニ觸ルル行爲ヲ爲シタルトキハ該行爲者ヲ罰スルノ外役員又ハ業務ヲ執行スル社員ヲモ處罰ス

法人ノ役員又ハ業務ヲ執行スル社員前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ役員又ハ社員ヲ處罰ス

第九十七條 第九十五條及前條第一項ノ場合ニ於テ本人若ハ法定代理人又ハ役員若ハ社員ガ當該違反行爲ヲ防止スル途ナカリシコトヲ證明シタルトキハ之ヲ罰セズ

附則

第九十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十九條 本法施行ノ際從前ノ規定ニ依リ現ニ存スル鑛業權ハ本法ノ規定ニ依リ鑛業權ノ設定ノ登錄ヲ爲シタルモノ

滿洲帝國鑛業法令

鑛業法施行細則

康徳二年八月一日
實業部 第十號
蒙政部 令 第五號

- 第一條 鑛業ニ關スル願書、申請書、屆書又ハ圖面ハ一件毎ニ之ヲ調製シ格式ノ定アルモノニ付テハ其ノ格式ニ準ズベシ
- 第二條 實業部大臣ニ提出スベキ書面又ハ圖面ハ鑛業監督署長ヲ經由スベシ此ノ場合ニ於テハ鑛業監督署長ニ提出シタル日時ヲ以テ提出ノ日時ト看做ス
- 第三條 實業部大臣又ハ鑛業監督署長ニ提出シタル書面、圖面又ハ標品ニシテ必要ト認ムルモノハ之ヲ返付セズ
- 第四條 鑛業ニ關シ命令又ハ通知ヲ發スル場合ニ於テ受信人ノ住所不明ナルトキハ十日間其ノ全文又ハ要旨ヲ鑛業監督署ノ揭示場ニ揭示スベシ此ノ場合ニ於テハ其ノ期間満了ノ日ニ命令又ハ通知ヲ受ケタルモノト看做ス
- 第五條 本則ノ規定ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願セントスル者、鑛業出願人、鑛業權者、租鑛權者、土地所有者其ノ他ノ利害關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス
- 第六條 本則中鑛業ノ出願ニ關スル規定ハ鑛業出願區域又ハ鑛區ノ増減及鑛區ノ合併、分割又ハ分合ノ出願ニ付之ヲ準用ス

- 第七條 書面又ハ圖面不完備ナルトキハ鑛業監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シテ修正又ハ補充ヲ命ズルコトヲ得
- 第八條 書面又ハ圖面ヲ郵便ニテ提出シタルトキハ消印記號ニ記載シタル最終ノ日時ニ提出シタルモノト看做ス
- 第九條 郵便物受取證ニ依リテ前項ノ規定ニ依ル日時外ノ日時ニ提出シタルコトヲ證明シタルトキハ其ノ日時ニ提出シタルモノト看做ス消印記號ナキ場合又ハ其ノ不明ナル場合ニ於テ郵便物受取證ニ依リテ其ノ日時ヲ證明シタルトキ亦同ジ
- 第十條 鑛業監督署長必要ト認ムルトキハ相當ノ期限ヲ附シテ鑛床ニ關スル説明書又ハ鑛物ノ標品ノ提出ヲ命ズルコトヲ得
- 第十一條 同一ノ區域ニ於テ二種以上ノ鑛物ニ付鑛業ヲ爲サントスル者ハ各種ノ鑛物毎ニ願書ヲ提出スベシ但シ同一ノ鑛床中ニ存在スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第十二條 鑛業ノ許可ヲ得タル鑛物ノ名稱ヲ更正セントスルトキハ願書ニ理由書ヲ添附シテ提出スベシ
- 第十三條 鑛業出願人ハ出願ノ日ヨリ三十日以内ニ所轄警察署長ノ身分證明書又ハ登記簿ノ謄本ヲ提出スベシ
- 第十四條 鑛業出願人帝國人民又ハ帝國ノ法令ニ從ヒ成立シタル法人ニ非ザルトキハ出願ノ日ヨリ三十日以内ニ當該國ノ領事ノ身分證明書又ハ登記簿ノ謄本ヲ提出スベシ
- 第十五條 前項ノ出願人滿洲國內ニ住所ヲ有セザルトキハ滿洲國內ニ

- 假住所ヲ定メ届出ツベシ但シ願書ニ假住所ヲ表示シテ届出ニ代フルコトヲ得
- 前項ノ規定ハ共同鑛業出願人ニ付テハ其ノ代表者ガ滿洲國內ニ住所ヲ有セザルトキニ限リ代表者ニ付之ヲ適用ス
- 第十四條 前二條ノ規定ハ出願人ノ名義變更ノ場合ニ於テ新出願人ニ付之ヲ準用ス
- 第十五條 共同鑛業出願人ハ願書ト共ニ連署シタル代表者選定ノ届書ヲ提出スベシ但シ願書ニ代表者ヲ表示シタルトキハ之ヲ以テ代表者選定ノ届出ト看做ス
- 前項ノ規定ハ出願人ノ名義ノ變更、鑛業權ノ設定又ハ移轉ニ因リ鑛業出願人又ハ鑛業權者ト爲スベキ者二人以上ナル場合ニ付之ヲ準用ス但シ鑛業權ノ設定ノ場合ニ於テハ登録稅納付書ニ代表者ヲ表示シタルトキハ之ヲ以テ代表者ノ届出ト看做ス
- 第十六條 共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者代表者ヲ變更シタルトキハ連署ナク連署シテ其ノ旨届出ツベシ
- 第十七條 鑛業法第十五條第一項ノ規定ニ依リ鑛業監督署長代表者ヲ指定シタルトキハ之ヲ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ニ通知スベシ
- 第十八條 鑛業出願人代表者ニ依リテ鑛業出願ノ取下、出願區域ノ増減ノ出願又ハ出願人ノ名義變更ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ願書又ハ届書ニ其ノ決議書又ハ之ニ相當スル書面

- ヲ添付スベシ
- 前項ノ規定ハ代表者ニ依リテ鑛區ノ増減、合併、分割又ハ分合ヲ出願スル場合ニ付之ヲ準用ス
- 第十九條 第十五條乃至第十七條ノ規定ハ共同租鑛權者ニ付之ヲ準用ス
- 第二十條 鑛業法第三十六條ノ規定ニ依ル單位區域ニ關シテハ實業部大臣其ノ鑛業地籍、邊長及面積ヲ公示ス
- 第二十一條 鑛業地籍アル地域ノ鑛業出願ニ付テハ願書ニ其ノ地籍ヲ表示シタルトキハ願書ヲ提出シタル後十五日以内ニ出願區域ノ圖面ヲ提出スルコトヲ得
- 二十二條 鑛業出願ノ願書ニ添付スベキ圖面ハ格式第十號ニ準ジ之ヲ調製シ左ニ掲グル事項ヲ明示スベシ
 - 一 鑛業地籍
 - 二 出願區域ノ地名、地域及地目
 - 三 出願區域ノ面積
 - 四 南北線
 - 五 縮尺
 - 六 二箇以上ノ不動基點並ニ其ノ名稱及特徵
 - 七 出願區域ハ各隅トナルベキ測點及其ノ番號
 - 八 境界線並ニ基點測點間ノ方位及距離
 - 九 測點ノ經度及緯度
 - 十 隣接鑛區トノ關係

滿洲帝國鑛業法令

十一 出願區域又ハ其ノ附近ニ於ケル鑛床ノ露頭及
其ノ走向傾斜

十二 出願區域及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他鑛業法
第五條ニ記載シタルモノ

第二十二條 國境線ニ接スルトキ其ノ他鑛區ノ境界ノ一部ヲ
經度又ハ緯度ノ分位ニ依リテ定ムルコトヲ得ザルトキハ其
ノ境界ニ對シ適當ニ測點ヲ設クベシ但シ此ノ場合ニ於テハ
鑛物ノ種類ニ拘ラズ其ノ面積ハ五十陌ヲ下ルコトヲ得ズ
鑛區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第一項ノ場合ニ於テ鑛業監督署長測點ノ位置不適當ナリト
認ムルトキハ相當ノ期限ヲ附シテ出願區域ノ増減ヲ命ズル
コトヲ得

第二十三條 石灰石、白雲石、マグネサイト、螢石、長石、
耐火粘土、重晶石、硝石、石膏、珪石、滑石、石棉及雲母
ニ付テハ鑛業法第三十六條第二項ノ規定スル單位區域ノ各
邊長ヲ二分ノ一トスルモノヲ以テ鑛區ト爲スコトヲ得

第二十四條 鑛業地籍ナキ區域ニ於テハ鑛區ハ一邊ノ方位零
度又ハ百八十度トシタル正方形又ハ矩形トシ矩形ノ場合ニ
於テハ長邊ハ短邊ノ三倍ヲ限トス

前項ノ場合ニ於テハ面積ハ二百陌ヲ下ルコトヲ得ズ但シ
前條ノ鑛物ニ付テハ五十陌迄ニ下スコトヲ得
第二十二條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ付テ之ヲ準用ス

第二十五條 鑛業出願ノ願書及出願區域又ハ鑛區ノ増減ノ願
書ハ書留郵便ヲ以テ提出スベシ

前項ノ場合ニ於テハ發送郵便局ヨリ受付ノ年月日及時刻ヲ
記載シタル受取證ヲ請置クベシ

第二十六條 鑛業監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シ出願人ニ鑛業
ノ設備ニ關スル設計書ヲ提出ヲ命ズルコトヲ得

第二十七條 鑛業監督署長鑛業ニ關スル出願又ハ鑛區ニ付實
地調査ノ必要アリト認ムルトキハ調査事項及調査期日ヲ指
定シ出願人又ハ鑛業權者ニ立會ヲ命ズルコトヲ得若シ調査
期日ヲ指定スルコト能ハザルトキハ豫定期日ヲ定メ確定期
日ハ出張吏員ノ指定ニ依ルベキコトヲ命ズベシ

出張吏員ガ確定期日ヲ指定スルトキハ其ノ期日ヨリ少ク
モ五日前ニ之ヲ通知スベシ但シ出願人又ハ鑛業權者ニ於テ
異議ナキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第一項ノ場合ニ於テハ出願人又ハ鑛業權者ハ其ノ調査ニ必
要ナル費用ヲ負擔スベシ

第二十八條 鑛業出願人ノ名義變更屆書ニハ新舊出願人運署
スベシ

第二十九條 相續其ノ他ノ一般承繼ニ因リテ鑛業出願人ト爲
リタル者又ハ氏名若ハ住所ヲ變更シタル鑛業出願人ハ其ノ
事實發生ノ日ヨリ三十日以内ニ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添
附シ其ノ旨ヲ鑛業監督署長ニ届出ツベシ法人ノ代表者ヲ變

更シタルトキ亦同シ

第三十條 共同鑛業出願人脱退シタル場合ニ於テハ代表者
若シ代表者ナキニ至リタルトキハ共同鑛業出願人ハ脱退ノ
日ヨリ十日以内ニ其ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ其ノ旨ヲ
鑛業監督署長ニ届出ツベシ

第三十一條 鑛業出願區域ノ増減ノ願書ニ添附スベキ圖面ニ
ハ新舊出願區域ノ關係ヲ明示スベシ

第三十二條 鑛業法第二十四條第一項ノ規定ニ依リ出願區域
訂正ノ命令ヲ爲ストキハ命令書ニ理由ヲ示シ訂正ノ區域ヲ
明示シタル圖面ヲ添附スベシ

鑛業出願人前項ノ命令ヲ受ケタルトキハ指定ノ期間内ニ圖
面五葉ヲ提出スベシ

第三十三條 第三十九條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ出願
人ハ出願區域ノ増減並ニ鑛物ノ名稱ノ更正ヲ出願スルコト
ヲ得ズ

第三十四條 鑛業法第十九條第二項及鑛業法第二十條第二項
ノ規定ニ依ル抽籤ハ關係鑛業出願人立會ノ上鑛業監督署長
之ヲ行フ

鑛業監督署長ハ抽籤ノ日時ヲ定メ少クトモ十五日前ニ關係
鑛業出願人ニ通知スベシ
前項ノ通知ヲ受ケタル鑛業出願人抽籤日時ニ出頭セザルト
キハ鑛業監督署長ハ二名以上ノ鑛業監督職員立會ノ上抽
籤

滿洲帝國鑛業法令

籤ヲ行フ

第三十五條 鑛區ノ合併、分割又ハ分合ノ願書ニハ理由書ヲ
添附シ且之ニ添附スベキ圖面ニハ合併、分割又ハ分合スベ
キ區域ノ關係ヲ明示スベシ但シ分割又ハ分合ノ願書ニ添附
スベキ圖面ハ各區域毎ニ之ヲ調製スベシ

鑛業法第三十八條第二項ノ規定ニ依ル抵當權者又ハ租鑛權
者ノ承諾書及其ノ權利關係ニ付テノ協定書ハ前項ノ願書ニ
之ヲ添附スベシ

第三十六條 第三十一條ノ規定ハ鑛區増減ノ願書ニ付テ之ヲ準
用ス

第三十七條 鑛業法第三十九條第二項ノ規定ニ依ル租鑛權者
ノ承諾書ハ鑛區増減ノ願書ニ之ヲ添附スベシ

鑛業法第三十九條第三項ノ規定ニ依ル抵當權者ノ承諾書ハ
鑛區又ハ増減區ノ願書ニ之ヲ添附スベシ

第三十八條 第三十二條ノ規定ハ鑛區訂正ノ命令ニ付テ之ヲ準
用ス

第三十九條 鑛業ノ出願許可スベキモノト決定シタルトキハ
鑛業監督署長ハ其ノ旨ヲ出願人ニ通知スベシ
出願人ハ前項ノ通知書ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ登録
稅ヲ納付スベシ此ノ期間内ニ登録稅納付書ヲ提出シタルモ
不受理ノ處分ヲ受ケタルモノハ其ノ處分ノ通達ヲ受ケタル
日ヨリ十日以内ニ在リテハ期間後ト雖更ニ登録稅ヲ納付ス

滿洲帝國鑛業法令

ルコトヲ得

登録税ハ第一項ノ通知書ヲ受ケタル者若ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ納付スベシ第八條ノ規定ハ郵便ヲ以テ納付スル場合ニ付之ヲ準用ス
前項ノ登録税ハ第一項ノ通知書ト共ニ登録税納付書ニ收入印紙ヲ貼附シテ之ヲ納付スベシ 税

第四十條ノ規定ハ第十一條ノ出願ニ付之ヲ準用ス

第四十條 鑛區ノ合併、分割、減區又ハ増減區ノ出願ニ付許可決定ノ通知ヲ受ケタル者ハ合併、分割、分合又ハ減小以前ノ鑛業權ニ付登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ登録納付書ニ添附シテ提出スベシ但シ鑛區ノ合併、分割、分合、減區又ハ増減區ノ願書ト共ニ承諾書ヲ提出シタルモノニ付テハ登録納付書ニ其ノ事由ヲ記載スルヲ以テ足ル
第四十一條 第三十九條第二項乃至第四項ノ規定ハ第三十八條ノ規定ニ依リ提出シタル圖面完備シタルモノト認ムル場合ニ付之ヲ準用ス

第四十二條 鑛區所在地ノ名稱、種目、境界、地形、方位距離、基點又ハ面積ガ鑛區圖ト相違スルコトヲ發見シタルトキハ鑛業監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シテ鑛業權ノ表示變更ニ關スル鑛區圖ノ提出ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令書ニ調査圖ヲ添附スベシ

九 鑛業地籍アル區域ノ出願ニシテ單位區域ニ依ラザルトキ又ハ第二十二條若ハ第二十三條ノ規定ニ違反シタルトキ
十 鑛業地籍ナキ區域ノ出願ニシテ第二十四條ノ規定ニ違反シタルトキ

十一 手数料ヲ納付セザルトキ

第四十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ鑛業監督署長ハ登録納付書ヲ受理セズ

一 第三十九條第四項若ハ第五項、第四十一條又ハ第四十二條第三項ノ規定ニ違反シ通知書ヲ提出セザルトキ
二 第四十條ノ規定ニ違反シ第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ添附セザルトキ

第四十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ鑛業監督署長ハ願書、申請書又ハ届書ヲ却下ス

一 實地調査ノ際出願人ガ出願區域ヲ明示スルコト能ハザルカ又ハ第二十七條第一項ノ規定ニ依リテ指定シタル調査事項ノ説明ヲ爲スコト能ハザルトキ
二 願書ニ添附シタル圖面ガ實地ノ區域ト著シク相違スルトキ
三 第七條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲サザルトキ

第四 第九條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ鑛床ニ關スル說
滿洲帝國鑛業法令

一六

鑛業監督署長ガ鑛業權ノ表示變更ニ關スル鑛區圖ノ提出ヲ要セザルモノト認ムルトキ又ハ前項ノ命令ニ依リ提出シタル鑛區圖ヲ調査シ完備シタルモノト認ムルトキハ第三十九條第一項ノ規定ニ準ジ其ノ旨ヲ鑛業權者ニ通知スベシ
第三十九條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ鑛業監督署長ハ願書、申請書又ハ届書ヲ受理セズ

一 鑛業出願區域ノ全部ガ所轄鑛業監督署ノ管轄區域外ナルトキ
二 出願ノ鑛物ガ鑛業法第二條ノ規定ニ該當セザルトキ
三 圖面ヲ添附スベキ鑛業ノ願書ニ之ヲ添附セザルトキ又ハ添附圖面ニ依リ區域分明ナラザルトキ
四 第十八條ノ規定ニ違反シ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附セザルトキ
五 第二十五條ノ規定ニ違反シ書留郵便ヲ以テ提出セザルトキ
六 第二十八條ノ規定ニ違反シ新舊出願人連署セザルトキ
七 第三十五條第二項ノ規定ニ違反シ承諾書及協定書ヲ添附セザルトキ
八 第三十七條ノ規定ニ違反シ承諾書ヲ添附セザルトキ

明書又ハ鑛物ノ標品ヲ提出セザルトキ

五 第十二條、第十三條第一項又ハ第十四條ノ規定スル期間内ニ身分證明書又ハ登記簿ノ謄本ヲ提出セザルトキ

六 第二十條第二項ノ規定ニ依ル期間内ニ圖面ヲ提出セザルトキ

七 第二十二條第三項又ハ第二十四條第三項ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ出願區域ノ増減ヲ爲サザルトキ

八 第二十六條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ設計書ヲ提出セザルトキ

九 第二十七條ノ規定ニ依リテ指定シタル期日ニ出願人立會ヲ爲サザルトキ

十 第三十九條ノ規定シタル期間内ニ登録納付書ヲ提出セズ書留郵便ニ付セザルトキ

十一 第六十條第三項ノ規定ニ依ル旅費ヲ納付セザルトキ

第四十六條 相續其ノ他ノ一般承繼ニ因リテ鑛業權者ト爲リタル者又ハ氏名若ハ住所ヲ變更シタル鑛業權者ハ其ノ事實發生ノ日ヨリ三十日以内ニ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附シテ登録ノ申請ヲ爲スベシ
法人ノ代表者ヲ變更シタルトキハ前項ノ規定ニ準ジテ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附シ其ノ旨ヲ鑛業監督署長ニ届出ツ

一七

ベシ

前二項ノ規定ハ租鑛權者又ハ抵當權者ニ付之ヲ準用ス

第四十七條 共同鑛業權者死亡ニ因リ脱退シタル場合ニ於テ

ハ代表者若シ代表者ナキニ至リタルトキハ共同鑛業權者ハ其ノ事實發生ノ日ヨリ三十日以内ニ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附シテ登録ノ申請ヲ爲スベシ

前項ノ規定ハ共同租鑛權者死亡ニ因リ脱退シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第四十八條 鑛業權者又ハ租鑛權者鑛業ニ著手シタルトキハ

遲滞ナク鑛區所在地又ハ其ノ附近ニ鑛業事務所ヲ定メ其ノ所在地、名稱及著手ノ年月日ヲ記載シタル届書ヲ鑛業監督署長ニ提出スベシ鑛業事務所ヲ移轉シタルトキ亦同ジ

第四十九條 鑛業權者又ハ租鑛權者ハ坑内實測圖、鑛業簿ノ

外鑛區圖及施業案ヲ鑛業事務所ニ備置クベシ

第五十條 鑛業權者鑛業權ノ設定若ハ移轉ノ登録アリタル日ヨリ六月以内ニ事業ニ著手セズ又ハ六月以上休業セント

スルトキハ其ノ期間ヲ明示シ理由ヲ詳記シテ鑛業監督署長ニ届出ツベシ

休業期間内ニ事業ニ著手シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ鑛業監督署長ニ届出ツベシ

前二項ノ規定ハ租鑛權者ニ付之ヲ準用ス

第五十一條 施業案ノ認可申請書ニハ格式第十四號ニ準ジテ

調製シタル施業案及之ヲ説明スベキ圖面ヲ添附スベシ
施業案變更ノ認可申請書ニハ變更ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添附スベシ

第五十二條 鑛業監督署長鑛業法第八十二條ノ規定ニ依リ施業案ノ變更ヲ命ズルトキハ少クとも三十日以上ノ期限ヲ附スベシ

第五十三條 坑内實測圖ハ平面圖及截面圖ノ二種トシ少クとも毎月末ニ於ケル掘進ノ狀況ヲ測定シ翌月中ニ調製スベシ

坑内實測圖ノ複本ハ石炭坑ニ在リテハ毎年六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各八月末日及二月末日迄ニ提出スベシ但シ鑛業監督署長必要ト認ムルトキハ何時ニテモ坑内實測圖ノ複本ノ提出ヲ命ジ又ハ提出期若ハ提出回数ノ變更ヲ命ズルト

トヲ得

前項ノ規定ニ依リテ提出シタル前期ノ坑内實測圖ノ複本ハ

請求ニ依リ之ヲ下付ス

第五十四條 鑛業簿ニハ鑛產物ノ數量、販賣先、販賣高、販賣代價、作業日數及工數ヲ記載スベシ

鑛業簿ノ複本ハ格式第十五號ニ準ジテ之ヲ調製シ毎年六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各七月末日及一月末日迄ニ提出スベシ

第五十五條 鑛業明細書ハ格式第十六號ニ準ジテ之ヲ調製シ毎年六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各七月末日及一月末日迄ニ提出スベシ

第五十六條 前三條ノ規定ニ依リテ調製シ若ハ提出スベキ書類又ハ圖面ハ鑛業權者ハ租鑛權ノ消滅又ハ移轉ノ場合ニ於テハ鑛業權者若ハ租鑛權者タリシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ調製シ若ハ提出スベシ租鑛權ノ設定アリタルトキ鑛業權者ニ付亦同ジ

第五十七條 前四條ノ規定ニ依リ坑内實測圖若ハ鑛業簿ノ複本又ハ鑛業明細書ヲ提出スベキ場合ニ於テ記載スベキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ツベシ

第五十八條 二以上ノ鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ニ於テハ

第五十一條及第五十三條乃至第五十六條ノ書類又ハ圖面ハ合併シテ之ヲ調製スルコトヲ得

第五十九條 鑛業權者又ハ租鑛權者自ラ鑛業ヲ管理セザルト

キハ鑛業代理人又ハ租鑛代理人ヲ選任シ鑛業監督署長ニ届出ツベシ

前項ノ代理人ハ鑛業法及鑛業法ノ施行ニ關スル命令ノ規定ニ依リテ鑛業ノ管理ニ關シ鑛業權者又ハ租鑛權者ノ爲スベ

滿洲帝國鑛業法令

キ一切ノ手續其ノ他ノ行爲ヲ委任セラレタルモノト看做ス但シ鑛業權者又ハ租鑛權者其ノ代理權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ此ノ限ニ在ラス

代理權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ鑛業監督署長ニ届出ツベシ

第一項ノ代理人不適當ト認ムルトキハ鑛業監督署長ハ鑛業權者又ハ租鑛權者ニ對シ其ノ改任ヲ命ズルコトヲ得

第六十條 鑛業法第四十三條第一項及第二項ノ規定ニ依ル實地調査ノ願書ニハ鑛業權ノ登録番號、鑛區所在地、鑛業地籍、鑛業權者ノ氏名、調査區域及其ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添附スベシ

鑛業監督署長實地調査ヲ爲サントスルトキハ出張吏員ノ氏名、調査日數並ニ之ニ要スル人夫又ハ物品ノ豫定書及所轄官廳旅費規定ニ依ル旅費ノ計算書ヲ調製シ出願人ニ交付スベシ

出願人ハ前項ノ書類到達ノ日ヨリ三十日以内ニ旅費ヲ前納シ指定期日ニ人夫及物品ヲ準備シ現場ニ立會スベシ

前三項ノ規定ハ租鑛權者及其ノ他ノ利害關係人ノ實地調査ノ出願ニ付之ヲ準用ス

第六十一條 鑛業法第五十九條第一項ノ認定ヲ受ケントスル者ハ土地ノ名稱、種目及其ノ目的ヲ記載シタル願書ヲ提出スベシ

第六十二條 鑛業法第六十條第一項ノ認定ヲ受ケントスル者ハ障害物ノ種類、名稱、存在ノ場所、所有者及占有者ノ氏名並ニ像定價格ヲ記載シタル願書ヲ提出スベシ

第六十三條 鑛業法第六十一條第二項ノ規定ニ依ル願書及通知書ニハ土地ノ名稱、占有者ノ氏名及其ノ目的ヲ記載スベシ

第六十四條 鑛業法第五十九條及鑛業法第六十條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入り又ハ障碍物ヲ除却セントスル者ハ鑛業監督署長ノ認定書ヲ携帶スベシ

第六十五條 鑛業法第六十三條第一項ノ認定ヲ受ケントスル者ハ格式第十七號ニ準ジ調製シタル願書ニ土地登記簿謄本又ハ之ニ相當スル書面、關係地實測圖及工事設計書ヲ添附シテ提出スベシ

第六十六條 鑛業權者又ハ租鑛權者鑛業法ノ規定ニ基キテ他人ノ土地ニ關スル權利ヲ取得シタルトキ、使用ヲ終リタルトキ、又ハ使用セザルニ至リタルトキハ直チニ鑛業監督署長ニ届出ツベシ

第六十七條 鑛業法第八十八條第一項又ハ第八十九條第一項ノ規定ニ依ル鑛業權者又ハ租鑛權者ノ裁決ノ申請書ニハ左

前項ノ權利取得ニ關スル届書ニハ土地ノ名稱、種目、面積、所有者ノ氏名、住所、使用ノ目的、時期、期間、補償金及擔保ヲ記載スベシ

第六十九條 訴願書ニハ訴願ノ目的、理由及鑛業權ノ登録番號、訴願人ノ氏名及住所ヲ記載シ署名捺印スベシ

第七十條 鑛業法第九十條第二項ノ規定ニ基ク處分又ハ裁決ノ公示ハ政府公報ヲ以テ之ヲ爲ス但シ第四十五條ノ規定ニ依リ却下ニ付テハ鑛業監督署ノ揭示場ニ揭示スルコトニ依リテ之ヲ爲ス

第七十一條 第二十九條、第三十條、第四十六條、第四十七條、第四十八條第一項、第四十九條、第五十條、第五十六條、第五十七條、第六十四條、第六十六條及第七十七條ノ規定ニ違反シタル者、第二十七條ノ規定ニ基ク指定ノ期日ニ立會ハズ若ハ調査事項ノ説明ヲ爲サザル者、第四十二條第一項ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ鑛區圖ヲ提出セザルトキ又ハ第三項ノ規定ニ違反シ期間内ニ登録稅ヲ納付セザル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十二條 第五十九條ノ規定ニ依リテ鑛業代理人又ハ租鑛代理人ヲ定メタル場合ニハ鑛業權者、租鑛權者、法定代理人又ハ法人ニ適用スベキ本則ノ罰則ハ之ヲ鑛業代理人又ハ租鑛代理人ニ適用ス但シ其ノ權限ニ屬セザル事項ニ付テハ

滿洲帝國鑛業法令

ニ掲グル事項ヲ記載シ請求地ニ於ケル工事設計圖及所有者又ハ利害關係人ト交渉シタル始末書ヲ添附スベシ但シ交渉ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ事由書ヲ以テ始末書ニ代フルコトヲ得

- 一 申請人ノ氏名及住所
- 二 所有者又ハ利害關係人ノ氏名及住所
- 三 鑛業權ノ登録番號
- 四 申請ノ目的及理由

鑛業監督署長前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ所有者又ハ利害關係人ニ交付スベシ

所有者又ハ利害關係人ハ申請書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ答辯書ヲ提出スベシ

所有者又ハ利害關係人前項ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セザルトキハ鑛業監督署長ハ申請書ノミニ依リテ裁決スルコトヲ得申請書ノ交付ヲ爲スコト能ハザルトキ亦同ジ

裁決書ニハ理由ヲ附シテ鑛業監督署長之ヲ申請人、所有者又ハ利害關係人ニ交付スベシ

前五項ノ規定ハ鑛業法第八十九條第一項ノ規定ニ依ル土地所有權者ノ裁決ノ申請ニ付テ之ヲ準用ス

第六十八條 鑛業監督署長ノ爲シタル裁決又ハ處分ニ對シテ訴願ヲ提起セントスルトキハ鑛業監督署長ヲ經由スベシ

鑛業監督署長ハ前項ノ訴願書ヲ受取リタル日ヨリ十五日以内此ノ限ニ在ラス

第七十三條 本則中土地ノ使用ニ關スル規定ハ水ノ使用ニ付テ之ヲ準用ス罰則ニ付亦同ジ

第七十四條 本則中實業部大臣、鑛業監督署又ハ鑛業監督署長トアルハ興安各省内ノ旗制ヲ施行スル地域ニアリテハ蒙政部大臣、興安省省公署又ハ興安各省省長トス

第七十五條 本令ハ鑛業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七十六條 本則施行前ノ從前ノ規定ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本則中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十七條 本令施行ノ際現ニ鑛業ヲ爲ス者ハ鑛業事務所ノ届出ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ三十日以内ニ施業案ノ提出ニ付テハ九十日以内ニ鑛業監督署長ニ届出又ハ提出スベシ

第七十八條 鑛業法第一百一條ノ規定ニ依ル鑛業權ニ付テハ當分ノ内仍從前ノ例ニ依ル

第七十九條 第三十二條ノ規定ハ鑛業法第一百四條又ハ第一百五條ノ規定ニ依ル鑛區又ハ出願區域ノ訂正ノ命令ニ付テ之ヲ準用ス

滿洲帝國鑛業法令

格式第一號

鑛業呈請呈文

- 一 鑛物名稱 某鑛
- 一 呈請地名 某省某縣某區某村
- 一 鑛業地籍 某區幾號幾條幾段

一面 積 若干單位區域幾陌幾阿

右開地方之某鑛懇請准予開採理合連同圖面及身分證明書(或登記簿謄本)呈請
鑒核施行謹呈
實業部大臣
(或蒙政部大臣)

原籍 呈請人姓名 名印

注 意

- 一 願書ハ一通トシ圖面五葉ヲ添附シ適宜契印スベシ但シ鑛業地籍アル地域ノ出願ナルトキハ圖面ハ願書ノ提出ト同時又ハ十五日以内ニ提出スベシ
- 二 身分證明書又ハ登記簿ノ謄本ハ願書ノ提出ト同時又ハ三十日以内ニ提出スベシ
- 三 共同鑛業出願ノ場合ニハ願書ト共ニ代表人届ヲ提出スルカ又ハ願書ニ代表者ヲ表示シテ届出ニ代フベシ

四 滿洲國內ニ住所ヲ有セザルトキハ願書ト共ニ滿洲國內ニ於ケル假住所届ヲ提出スルカ又ハ願書ニ假住所ヲ表示シテ届出ニ代フベシ

五 手数料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

格式第二號 鑛業呈請區域之增減呈請呈文

某年某月某日某鑛業呈請

某省某縣某區某村

鑛業地籍 某區幾號幾條幾段

面 積 若干單位區域幾陌幾阿

增區域

某省某縣某區某村

鑛業地籍 某區幾號幾條幾段

面 積 若干單位區域幾陌幾阿

減區域

某省某縣某區某村

鑛業地籍 某區幾號幾條幾段

面 積 若干單位區域幾陌幾阿

共計面積 若干單位區域幾陌幾阿

關於右開鑛業呈請區域擬請增減理合連同圖面呈請
鑒核施行謹呈
實業部大臣

(或蒙政部大臣)

原籍 呈請人姓名 名印

注 意

- 一 願書ハ一通トシ圖面五葉ヲ添附シ適宜契印スベシ但シ鑛業地籍アル地域ノ出願ナルトキハ圖面ハ願書ノ提出ト同時又ハ十五日以内ニ之ヲ提出スベシ
- 二 代表者ニテ出願スル場合ニハ共同出願人ノ決議書又ハ之ニ代ルベキ書面ヲ添附スベシ
- 三 手数料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

鑛業呈請人之名義變更呈報

某年某月某日某鑛業呈請

呈請地名 某省某縣某區某村

鑛業地籍 某區幾號幾條幾段

面 積 若干單位區域幾陌幾阿

關於右開鑛業呈請擬將呈請人名義變更爲何某理合連同身分證明書(或登記簿謄本)並由新舊呈請人連署呈請
鑒核謹呈
實業部大臣

滿洲帝國鑛業法令

(或蒙政部大臣)

原籍 舊呈請人姓名 名印

原籍 新呈請人姓名 名印

注 意

- 一 願書ハ一通トシ名義變更ニ因リ出願人二人以上トナリタル場合ニハ願書ト共ニ代表者届ヲ提出スルカ又ハ願書ニ代表者ヲ表示シテ届書ニ代フベシ
- 二 舊共同出願人代表者ニテ届出ヲ爲スニハ決議書又ハ之ニ代ルベキ書面ヲ添附スベシ
- 三 身分證明書又ハ登記簿ノ謄本ハ新出願人ニ關スルモノノミ添附スベシ
- 四 手数料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

鑛業呈請之繼承(或承繼)呈文

何年何月何日何鑛業呈請

呈請地名 某省某縣某區某村

鑛業地籍 某區幾號幾條幾段

滿洲帝國鑛業法令

面 積 若干單位區域幾何幾阿

關於右開呈請人何某因死亡(或載關於一般承繼之原因)故請
准予繼承理合添具繼承(或關於一般承繼)之憑證文書呈請
鑒核施行謹呈

實業部大臣

(或蒙政部大臣)

原籍 現住 年 月 日 繼承人(或承繼人)姓名 印

原籍 現住 年 月 日 鑛業權者 姓名 印

注意

- 一 願書ハ一通トシ事實發生ノ日ヨリ三十日內ニ届出ツベシ
- 二 同順位ノ相續人數人アル場合ニ於テ其ノ中ノ一人又ハ數人ノ名義ト爲サントスルトキハ他ノ相續人ノ承諾書ヲ添付スベシ
- 三 相續ニ因リ出願人ト爲ルベキ者二人以上ナルトキハ代表者ノ願書ヲ提出スルカ届書ニ代表者ヲ表示シテ届書ニ代フベシ
- 四 手数料ハ收入印紙ヲ届書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

格式第五號

鑛物名稱更正呈文

鑛業權登錄奉(新、承、齊)鑛第幾號

關於右開鑛業權之鑛物名稱業蒙登錄爲某鑛在案茲擬請更正爲

原籍

現住 代表人 姓名 名 印

(或蒙政部大臣)

注意

- 一 願書ハ一通トシ脱退ノ日ヨリ十日以内ニ届出ツベシ
- 二 代表者タル共同鑛業出願人ノ脱退ノ場合ニ於テ尙二人以上ノ出願人殘存スルトキハ脱退届書ト共ニ代表者届ヲ提出スルカ又ハ脱退届書ニ代表者ヲ表示シテ届書ニ代フベシ
- 三 手数料ハ收入印紙ヲ届書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

- 一 願書ハ一通トシ圖面五葉ヲ添付シ適宜契印スベシ
- 二 抵當權又ハ租鑛權ノ設定アル場合ニハ抵當權者又ハ租鑛權者ノ承諾書及其ノ權利關係ニ付テノ協定書ヲ添付スベシ
- 三 代表者ニテ出願スル場合ニハ共同鑛業權者ノ決定書又ハ之ニ代ルベキ書面ヲ添付スベシ
- 四 手数料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼付シテ之ヲ納付スベシ

格式第七號

格式第八號

鑛區合併之呈文

- 一 鑛業權登錄奉(新、承、齊)鑛第幾號
- 某省某縣某區某村某鑛鑛區
- 鑛業地籍 某區幾號幾條幾段
- 面 積 若干單位區域幾何幾阿

- 鑛區分割之呈文
- 鑛業權登錄奉(新、承、齊)鑛第幾號
- 某省某縣某區某村某鑛鑛區
- 鑛業地籍 某區幾號幾條幾段
- 面 積 若干單位區域幾何幾阿

- 一 鑛業權登錄奉(新、承、齊)鑛第幾號
- 某省某縣某區某村某鑛鑛區
- 鑛業地籍 某區幾號幾條幾段
- 面 積 若干單位區域幾何幾阿

- 茲擬將前項鑛區分爲左開二區
- 一 某省某縣某區某村
- 鑛業地籍 某區幾號幾條幾段
- 面 積 若干單位區域幾何幾阿

- 共計面積 若干單位區域幾何幾阿
- 關於右開鑛區擬請合併開採理合連同圖面及理由書呈請

- 鑛業地籍 某區幾號幾條幾段
- 面 積 若干單位區域幾何幾阿

鑒核施行謹呈

實業部大臣

滿洲帝國鑛業法令

滿洲帝國鑛業法令

某區幾號幾條幾段

鑛業地籍 若干單位區域幾陌幾阿

關於右開鑛區之分割懇請許可理合連同圖面及理由書呈請
鑒核施行謹呈

實業部大臣
(或蒙政部大臣)

原籍 姓名 印
現住 鑛業權者 姓名 印
年月日

一 願書ハ一通トシ圖面ハ各區域毎ニ五葉ヲ添付シ適宜契印
スベシ

二 抵當權又ハ租鑛權ノ設定アル場合ニハ抵當權者又ハ租鑛
權者ノ承書及其ノ權利關係ニ付テノ協定書ヲ添付スベシ

三 代表者ニテ出願スル場合ニハ共同鑛業權者ノ決議書又ハ
之ニ代ルベキ書面ヲ添付スベシ

四 手数料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ
格式第九號

鑛區之増減區呈文

鑛業權登錄奉(新、承、齊)鑛第幾號

某省某縣某區某村某鑛鑛區

鑛業地籍 某區幾號幾條幾段

若干單位區域幾陌幾阿

鑛業地籍 若干單位區域幾陌幾阿

關於右開鑛區擬請增減理合連同圖面呈請
鑒核施行謹呈

實業部大臣
(或蒙政部大臣)

原籍 姓名 印
現住 鑛業權者 姓名 印
年月日

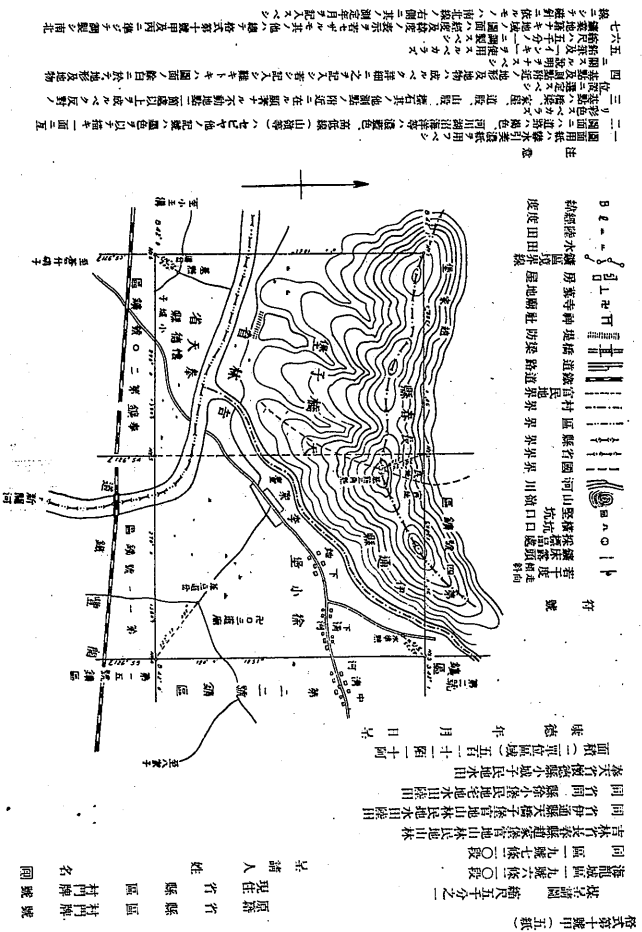
一 願書ハ一通トシ圖面五葉ヲ添付シ適宜契印スベシ

二 抵當權又ハ租鑛權ノ設定アル鑛區ノ増減區又ハ減區ノ出
願ナルトキハ抵當權者又ハ租鑛權者ノ承書ヲ添付スベシ

三 代表者ニテ出願スル場合ニハ共同鑛業權者ノ決議書又ハ
之ニ代ルベキ書面ヲ添付スベシ

四 手数料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

滿洲帝國鑛業法令



注 意

一 單位區域ノ各邊ノ長サヲ一分ノ一トスルモノヲ以テ繪テナス場合ハ本表式ニ依リ圖面ヲ圖製スベシ

二 單位區域内ニ於テル距離區域ノ位置ヲ簡單ニ明示スルモノヲ電位區域内ノ部分ノ單位ヲ

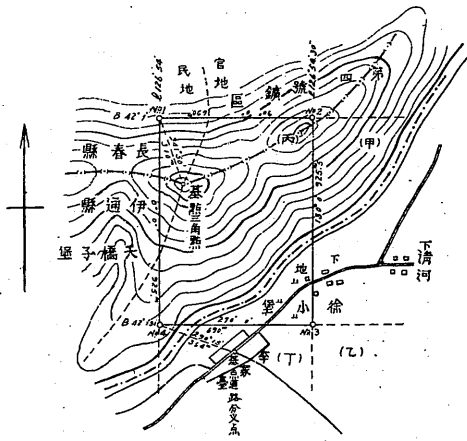
丙 丁

トシ本表式ニ準

ビテ圖面ヲ圖製スベシ

符 號

縣 界 村 界 道 路 山 嶺 官 民 地 界 房 地 界 鐵 道 界 線 水 流 線 總 經 度 度 度



格式第十號乙(五紙)

白雲石呈請圖 縮尺五千分之一

海龍縣區一九號六條二〇段丙

吉林省長春縣通家堡官地山林民地山林

同 省伊通縣徐小堡民地毛地水田

同 省同 縣大柵子堡官地山林民地山林

面積(四分之一)單位區域)六十二百八十八阿

康 德 年 月 日 呈

原籍 省 縣 區 村 門 牌 號

現任 省 縣 區 村 門 牌 號

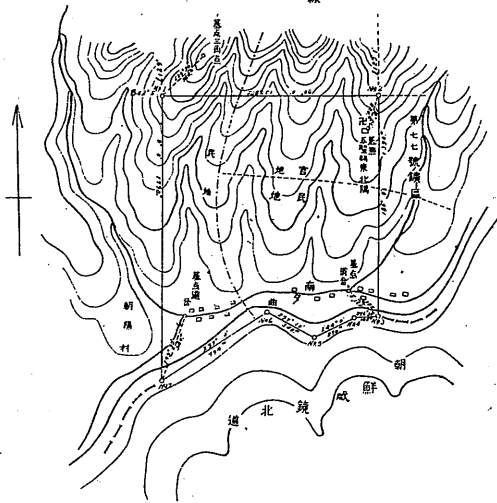
呈 請 人 姓 名 團 號

注 意

一 國籍法ニ接スルトキ其ノ他國籍ノ遺棄ノ一部ヲ經度又ハ緯度ノ分位ニ依リテ定ムルコトヲ得サレモノハ本表式ニ準リ圖面ヲ圖製スベシ

符 號

村 界 官 民 地 界 房 地 界 鐵 道 界 線 山 嶺 官 民 地 界 水 流 線 總 經 度 度 度



格式第十號丙(五紙)

金鑛呈請圖 縮尺五千分之一

白頭山區九號三〇條一五段

吉林省和龍縣夕曲官地山林民地山林宅地

同 省同 縣鏡湖村民地山林水田宅地

面積三百零八段三十阿

康 德 年 月 日 呈

原籍 省 縣 區 村 門 牌 號

現任 省 縣 區 村 門 牌 號

呈 請 人 姓 名 印 號

B-2

滿洲帝國鑛業法令

川〇

格式第十一號甲

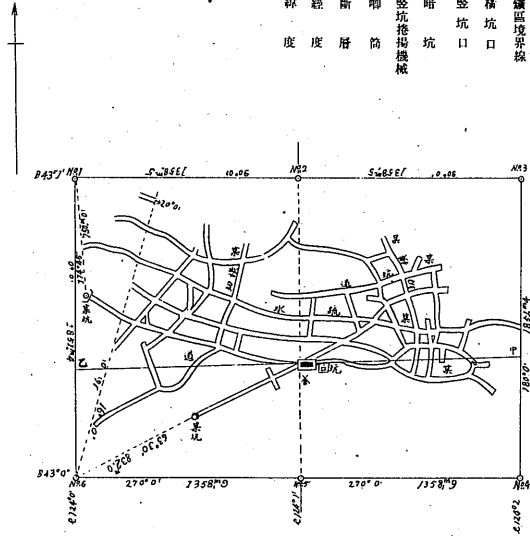
鑛業權登錄簿(新、承、齊)鑛第
某省 某縣 某區 某村 某鑛山
號

坑內實測平面圖 縮尺一千分之一

測量者	現任	省	縣	區	村門牌	號
姓	姓	姓	姓	名	名	號
名	名	區	區	村門牌	名	號
國	國	號	號	國	號	號

符號

- 鑛區境界線
- 橫坑口
- 豎坑口
- 暗坑
- 豎坑揚機
- 井筒
- 斷層
- 經度
- 緯度



注 意

- 一 坑道ノ上下段ハ色分ケテ以テ區別スベシ
- 二 軌道ヲ敷設シタル坑道又ハ機軸等設置ノ場所ニシテ本圖ノ縮尺ニテ圖上ニ表示シ難キモノハ適宜ノ縮尺ヲ用フ
- 三 圖面縮尺ハ一千分ノ一ニ調整スベシ
- 四 木造機ハ黃色ニ標シ瓦葺機ハ藍色ニ色分ケナスベシ

B-2

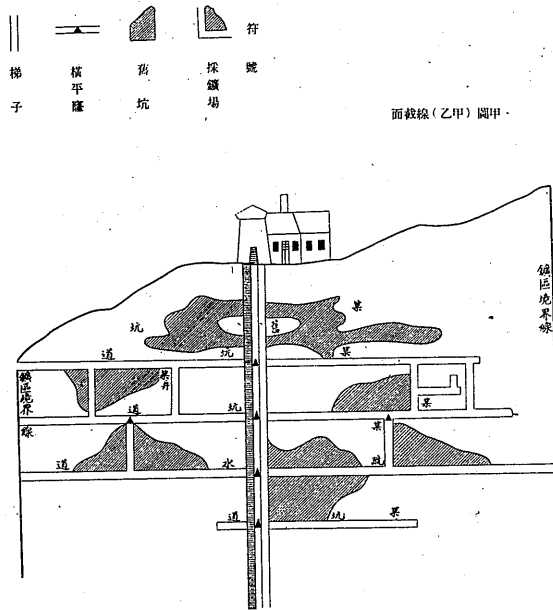
格式第十一號乙

鑛業權登錄簿(新、承、齊)鑛第
某省 某縣 某區 某村 某鑛山
號

坑內實測剖面圖 縮尺一千分之一

測量者	現任	省	縣	區	村門牌	號
姓	姓	姓	姓	名	名	號
名	名	區	區	村門牌	名	號
國	國	號	號	國	號	號

圖中(乙)剖面線



注 意

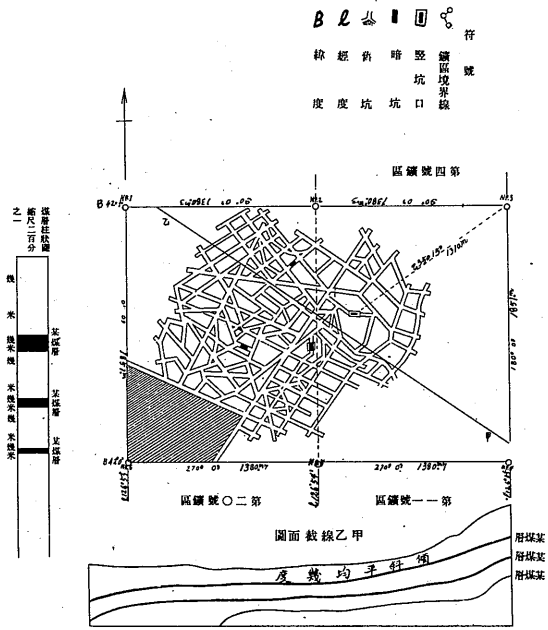
- 一 坑道ノ上下段ハ色分ケテ以テ區別スベシ
- 二 軌道ヲ敷設シタル坑道又ハ機軸等設置ノ場所ニシテ本圖ノ縮尺ニテ圖上ニ表示シ難キモノハ適宜ノ縮尺ヲ用フ
- 三 圖面縮尺ハ一千分ノ一ニ調整スベシ
- 四 木造機ハ黃色ニ標シ瓦葺機ハ藍色ニ色分ケナスベシ

滿洲帝國鑛業法令

川一

探採油礦業法令

- 注 意
- 一 平面圖ニハ採掘ノ色分ケニ依リ各採掘ヲ區別スルベシ
 - 二 採掘シテ部分ハ採掘ト同色ノ表狀線(Hashing)ヨリ以テ表スルベシ
 - 三 採掘中ニハサミ物アラバ柱狀圖ニテ明示スルベシ
 - 四 平面圖ハ一千分ノ二縮製スルベシ
 - 五 木造地ニハ黃色ニ塗五層ハ藍色ニ色分ケテ表スルベシ
 - 六 推測地ニハ黃色ニ塗五層ハ藍色ニ色分ケテ表スルベシ



格式第十二號(煤鑛山之分)

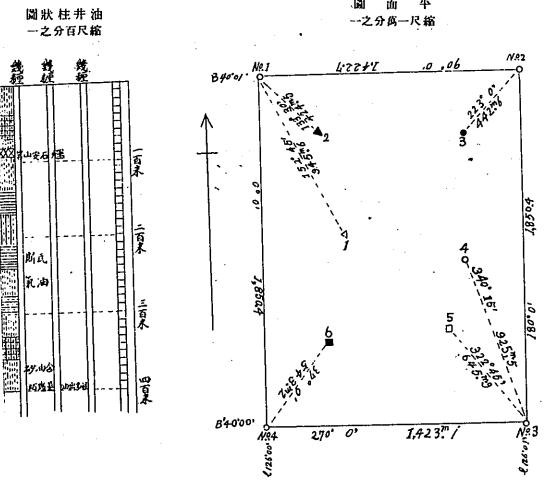
鑛業權登錄簿(新、承、齊)鑛第 號

某省 某縣 某區 某村 某鑛山

坑內實測圖 縮尺一千分之一

測量者 現住 省 縣 區 村門牌 姓名

- 注 意
- 一 油井ノ位置ハ其ノ用途ノ別ニ依リ圖面ヲ明示スルベシ
 - 二 油井ノ用途ニ依リ圖面ニテ柱狀圖ニテ明示スルベシ
 - 三 油井ノ用途ニ依リ圖面ニテ柱狀圖ニテ明示スルベシ
 - 四 油井ノ用途ニ依リ圖面ニテ柱狀圖ニテ明示スルベシ
 - 五 本圖ノ縮尺ニテ表ハサシテハ縮尺ニ依リ縮製スルベシ



格式第十二號(煤油鑛山之分)

鑛業權登錄簿(新、承、齊)鑛第 號

某省 某縣 某區 某村 某鑛山

坑內實測圖 縮尺一千分之一

測量者 現住 省 縣 區 村門牌 姓名

探採油礦業法令

B-2

格式第十五號

種別	名稱	煤	油	數量		金額		數量		金額		現住	原籍	姓名	縣區	村名
				噸	升	圓	圓	噸	升	圓	圓					
...

一 本表ハ石油ノ精製シタルモノニ限リ適用ス
 二 數量ノ單位ハ石油ハ桶(ピツ)ハ、噸トス
 三 種別ノ欄ニハ煤、石油、重油、機械油、ワツチ、等製成ノ普通名稱ヲ依リ區別シテ記載ス
 四 自己所屬ノ他礦山ノ原油ヲ受テ、精製シタル礦山ニ在リテハ、當該礦山ニ依リ區別シテ記載ス且產出礦山ヲ明ニ記ス
 五 原油ヲ買入、自己採掘ニ係ル原油ト合併シテ精製シタルトキハ、當該礦山ニ依リ區別シテ記載ス、尚產出礦山名、登錄番號、省縣町村名、原油ト合併シテ精製シタルトキハ、當該礦山ニ依リ區別シテ記載ス
 六 賣出價額ハ、礦山渡シ價額ニ依リ記載ス
 七 精製品價額ハ、價額ヲ年現在ノ市價ニ依リ各品別ニ備考欄ニ記載ス
 八 本表ヲ煉業代理人ハ、租業代理人ヨリ提出スル場合ニハ、該代理人ノ捺印スベシ

煉業登錄簿 第一(新)承齊簿第 康徳 年 半期業明細表(精製之部)

B-2

格式第十六號甲之一(三紙)

種別	名稱	煤	油	數量		金額		現住	原籍	姓名	縣區	村名
				噸	升	圓	圓					
...

一 本表ハ石油及石油ノ精製シタルモノニ限リ適用ス
 二 種別ノ欄ニハ煤、石油、重油、機械油、ワツチ、等製成ノ普通名稱ヲ依リ區別シテ記載ス
 三 數量ノ單位ハ石油ハ桶(ピツ)ハ、噸トス
 四 自己所屬ノ他礦山ノ原油ヲ受テ、精製シタル礦山ニ在リテハ、當該礦山ニ依リ區別シテ記載ス且產出礦山ヲ明ニ記ス
 五 原油ヲ買入、自己採掘ニ係ル原油ト合併シテ精製シタルトキハ、當該礦山ニ依リ區別シテ記載ス、尚產出礦山名、登錄番號、省縣町村名、原油ト合併シテ精製シタルトキハ、當該礦山ニ依リ區別シテ記載ス
 六 賣出價額ハ、礦山渡シ價額ニ依リ記載ス
 七 精製品價額ハ、價額ヲ年現在ノ市價ニ依リ各品別ニ備考欄ニ記載ス
 八 本表ヲ煉業代理人ハ、租業代理人ヨリ提出スル場合ニハ、該代理人ノ捺印スベシ

煉業登錄簿 第一(新)承齊簿第 康徳 年 業明細表

滿洲帝國鐵業法令

格式十六號甲之(三)紙

鐵業權登錄簿(新・承・賣)續第 號 康德 年續業明細表

考 備	共 計	種 別	上 年 所 餘 數 量	探 出 數 量	數 額	出 租 或 出 賣		自 用	所 餘 數 量	礦 名 物 類	
						價 額	額			省 縣 區 村	省 縣 區 村
										稱名及位置	山 鐵
										礦 山 村	省 縣 區 村
										或租業代理人 或其代理人	或租業權者 或其代理人
										現 住 姓 省 縣 區 村	現 住 籍 姓 省 縣 區 村

- 注 意
- 一 本表ハ石炭鐵山ニ關シ適用スルモノトス
 - 二 種別ノ欄ニハ以炭(原煤)塊炭(末煤)ニ區別シテ記載スベシ
 - 三 數量ノ單位ハ噸トシ以下一位差ヲ記載スベシ
 - 四 賣出額ハ鐵山渡シ値段ニ依リ記載スベシ
 - 五 本表ハ鐵業代理人又ハ租業代理人ヨリ提出スル場合ニハ該代理人ノ捺印スベシ

格式十六號甲之(三)紙

鐵業權登錄簿(新・承・賣)續第 號 康德 年續業明細表

考 備	製 別	精 製 數 量	油 類	採 出 數 量	採 出 價 額	供 給 製 數 量	供 給 價 額	自 用	所 餘 數 量	礦 名 物 類	
										省 縣 區 村	省 縣 區 村
										稱名及位置	山 鐵
										礦 山 村	省 縣 區 村
										或租業代理人 或其代理人	或租業權者 或其代理人
										現 住 姓 省 縣 區 村	現 住 籍 姓 省 縣 區 村

- 注 意
- 一 本表ハ石油(可燃質天然瓦斯ヲ含ム)鐵山ニ關シ適用スルモノトス
 - 二 比重ノ欄ニハ一平トメテ比重ニ依リ記載スベシ
 - 三 精製ノ部ノ欄ニハ煤油(燈油)煤油(燈油)煤油(燈油)煤油(燈油)ニ依リ區別シテ記載スベシ
 - 四 原油ヲ自自所屬ノ他鐵山ニ輸送シ合併シテ精製タル鐵山ニ在リテハ其數量ヲ供給製數量ノ欄ニ記載シ且備考欄ニテ產出鐵山ヲ明記スベシ
 - 五 合併シテ精製シタル鐵山ニ在リテハ其數量ヲ供給製數量ノ欄ニ記載シ且備考欄ニテ產出鐵山名 登錄番號 省縣區村名 原油數量及比重ヲ備考欄ニ各別ニ記載スベシ
 - 六 原油ヲ買入自自採掘ニ係ル原油ト合併シテ精製タル鐵山ニ在リテハ其數量ヲ供給製數量ノ欄ニ記載シ且備考欄ニテ產出鐵山名 登錄番號 省縣區村名 原油數量及比重ヲ備考欄ニ各別ニ記載スベシ
 - 七 賣出額ハ鐵山渡シ値段ニ依リ記載スベシ
 - 八 精製製油ノ價額ヲ年現在在ノ市價ニ依リ精製品ノ種類別ニ備考欄ニ記載スベシ
 - 九 原油ヲ販賣シタルトキハ其數量 數量及比重各別ニ備考欄ニ記載スベシ
 - 十 本表ハ鐵業代理人又ハ租業代理人ヨリ提出スル場合ハ代理人ノ捺印スベシ

滿洲帝國鐵業法令

格式第十六號乙之二(二紙)

備考	作業日数	坑内	坑外	職別																計	備考					
				採掘		運搬		選別		洗選		その他		共同		その他		計			現在	原籍	現在	原籍		
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						姓	名

注 意
 一 本表ハ石炭及石油ヲ採キタル一般ノ礦山ニ關シ適用スルモノトス
 二 礦夫、職員及其他ノ從業人ハ六月末日現在ニ依リ記載スベシ但シ休業中ノ礦山又ハ七月一日以後事業ヲ開始シタル礦山ニ於テハ休業ノ際又ハ十一月末日現在ニ依リ記載スベシ其ノ旨備考欄ニ記載スベシ
 三 一種以上ノ業務ニ従事スル者ニ付テハ其ノ主ナル一方ニ記載スベシ
 四 本表ノ種類ニ該當セザル特殊ノ業務ニ従事スル者アルトキハ種別ノ空欄ニ其ノ名稱ヲ附シ記載スベシ
 五 其ノ他ノ從業人ハ給仕、門衛等礦夫以外ノ勞務者ヲ謂フ
 六 手當、賃與等ニシテ實質上賃金ノ性質ヲ有スルモノハ全部賃金(工資)ニ中ニ包入スベシ
 七 毎工平均工資トハ工數ヲ以テ賃金(工資)總額ヲ除シタルモノヲ謂フ
 八 本表ヲ鑛業代理人又ハ租鑛代理人ヨリ提出スル場合ニハ該代理人ノミヲ指シスベシ

格式第十六號乙之二(二紙)

備考	作業日数	坑内	坑外	職別																計	備考					
				採掘		運搬		選別		洗選		その他		共同		その他		計			現在	原籍	現在	原籍		
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						姓	名

注 意
 一 本表ハ石炭及石油ヲ採キタル一般ノ礦山ニ關シ適用スルモノトス
 二 礦夫、職員及其他ノ從業人ハ六月末日現在ニ依リ記載スベシ但シ休業中ノ礦山又ハ七月一日以後事業ヲ開始シタル礦山ニ於テハ休業ノ際又ハ十一月末日現在ニ依リ記載スベシ其ノ旨備考欄ニ記載スベシ
 三 一種以上ノ業務ニ従事スル者ニ付テハ其ノ主ナル一方ニ記載スベシ
 四 本表ノ種類ニ該當セザル特殊ノ業務ニ従事スル者アルトキハ種別ノ空欄ニ其ノ名稱ヲ附シ記載スベシ
 五 其ノ他ノ從業人ハ給仕、門衛等礦夫以外ノ勞務者ヲ謂フ
 六 手當、賃與等ニシテ實質上賃金ノ性質ヲ有スルモノハ全部賃金(工資)ニ中ニ包入スベシ
 七 毎工平均工資トハ工數ヲ以テ賃金(工資)總額ヲ除シタルモノヲ謂フ
 八 本表ヲ鑛業代理人又ハ租鑛代理人ヨリ提出スル場合ニハ該代理人ノミヲ指シスベシ

B-2

滿洲帝國礦業法令

格式第十六號之三(二紙)

礦業登錄簿(新・承・齊)簿式 年度開明細表 健康簿

姓名	別	年齡			現住	原住			現住	原住	備考
		男	女	計		男	女	計			
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

八七六五四三二一

本表係根據... 凡有... 均應... 呈報... 逾期... 罰款...

B - 2

格式第十六號丙(二紙)

礦業登錄簿(新・承・齊)簿式 年度開明細表 健康簿

稱名物種	精及位置	式	數	馬力	設置場所	使用目的	原動機		備考
							種別	種類	
往復動汽機	往復動汽機	往復動汽機					往復動汽機		
蒸汽特兒資	蒸汽特兒資	蒸汽特兒資					蒸汽特兒資		
瓦斯特兒資	瓦斯特兒資	瓦斯特兒資					瓦斯特兒資		
石油特兒資	石油特兒資	石油特兒資					石油特兒資		
西洋式水車	西洋式水車	西洋式水車					西洋式水車		
特兒資式水車	特兒資式水車	特兒資式水車					特兒資式水車		
塔兒款式水車	塔兒款式水車	塔兒款式水車					塔兒款式水車		
日本式水車	日本式水車	日本式水車					日本式水車		
電	電	電					電		
機	機	機					機		
其他	其他	其他					其他		

注 電

一 電氣機二付テハ實力ノ欄ニ「キロワット」又ハ「」キロツォルト「」アンペア」數ヲ記載スベシ

二 汽鍋(鍋爐)ニ付テハ實力ノ欄ニ「ボイラ」又ハ「」キロワット」又ハ「」アンペア」數ヲ記載スベシ

三 休止及準備ノ原動機ニ付テハ備考欄ニ「其ノ旨ヲ記載スベシ」

四 鑛業代理人又ハ租業代理人ヨリ提出スル場合ニハ該代理人ノ捺印スベシ

滿洲帝國礦業法令

滿洲帝國鑛業法令

別表第一號

吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍
吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍
吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍
吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍

別表第二號

吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍
吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍
吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍
吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍

吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍
吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍
吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍
吉林	敦化	伊通	懷德	舒蘭	德惠	龍江	明水	泰康	大賚	洮南	突泉	依蘭	鳳山	呼蘭	五常	肇東	青島	綏化	鐵嶺	木蘭	奉天	撫松	通化	鳳城	安東	延吉	汪清	和龍

滿洲帝國鑛業法令

Table with columns: 新, 區, 濱, 爾. Rows include location names like 蛟河, 舒蘭, 榆樹 and various administrative designations.

Table with columns: 海, 區, 京. Rows include location names like 同江, 同安, 同德 and various administrative designations.

五一

Table with columns: 海, 區, 山, 頭, 白. Rows include location names like 拜泉, 龍江, 龍江 and various administrative designations.

Table with columns: 哈, 區, 倫. Rows include location names like 同江, 同安, 同德 and various administrative designations.

滿洲帝國鑛業法令

五〇

訥 都 伯												區 爾 哈 齊 齊															
12	同	10	同	同	9	同	8	同	7	6	5	同	4	3	同	2	1	10	9	8	同	5	4	3			
馬爾根山	同	新廟	同	同	大	同	古	同	他	九	伯	同	茂	頭	同	軌	小	煙	塔	喇	林	大					
龍	龍	吉	吉	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍				
大費	大費	乾安	乾安	肇州	肇州	肇州	肇州	扶餘	扶餘	扶餘	乾安	乾安	肇州	肇州	安達	安達	泰康	龍江	龍江	安達	林甸	林甸	林甸	富裕	富裕	富裕	依安

奉												區													
同	10	9	9	8	7	6	同	5	同	4	3	2	1	25	24	23	20	19	18	17	同	15	14	13	
同	奉	同	楊	官	泥	哈	同	公	同	懷	長	伏	查	前	洮	太	巴	寶	鎮	公	同	高	安	西	
化	天	林	家	立	什	營	主	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	叉	南	本	拉	興	東	合	窩	窩	窩	窩	
吉	奉	吉	奉	吉	吉	吉	奉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍
伊	梨	懷	雙	乾	乾	梨	梨	懷	長	農	乾	乾	洮	洮	洮	鎮	鎮	乾	安	安	大	大	大	大	
通	樹	德	山	安	安	樹	樹	德	春	春	安	安	南	安	安	東	東	來	廣	廣	費	費	費	費	
	昌	長	梨	農	農	伊	伊	長	春	春	安	安	開	鎮	鎮	安	安	大	大	大	大	大	大	大	
	圖	春	樹	安	安	通	通	春	春	春	安	安	通	東	東	廣	廣	費	費	費	費	費	費	費	
		嶺	長	嶺	嶺			嶺	嶺	嶺			榆	通	通	通	通	東	東	東	東	東	東	東	
			嶺	安	安																				

城												龍													
同	17	同	16	同	15	同	14	13	同	12	11	同	10	同	9	同	8	同	7	6	同	5	同	4	3
同	磨	同	煙	同	八	同	通	樣	同	朝	取	同	軒	同	三	同	灤	同	官	橫	同	關	同	驛	太
山	山	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江	江
奉	吉	奉	吉	安	奉	安	奉	奉	吉	奉	吉	奉	安	安	奉	奉	奉	吉	吉	奉	安	奉	奉	安	安
天	林	天	林	東	天	東	天	天	天	龍	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天
東	磐	東	東	臨	金	臨	金	金	磐	海	磐	臨	臨	灤	磐	灤	樺	樺	樺	臨	灤	撫	撫	撫	
豐	石	豐	豐	江	川	江	川	川	石	龍	石	江	江	江	石	江	甸	甸	甸	江	江	松	松	松	
西	安	伊	通	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳
安	安	通	通	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河
海	龍	雙	陽	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳

區 仁 懷												區												
同	24	23	22	同	21	18	17	16	13	12	11	7	6	同	25	24	23	22	同	21	同	20	19	18
昌	太	懷	同	旺	楚	台	大	渭	滿	六	院	慈	同	新	南	北	大	同	二	同	通	柳	海	
平	平	平	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	兵	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
城	城	城	城	城	城	城	城	城	城	城	城	城	堡	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
安	安	安	安	奉	安	安	安	安	安	安	安	安	安	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉
東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天
寬	桓	桓	桓	興	輯	輯	輯	輯	輯	輯	輯	輯	通	海	東	東	西	伊	柳	通	柳	海	東	
甸	仁	仁	仁	京	安	安	安	安	安	安	安	安	化	龍	豐	豐	安	通	河	化	龍	龍	豐	
													柳	清	清	東	西	金	柳	柳	柳	柳	柳	
													河	原	原	豐	安	川	河	河	河	河	河	
														柳	柳	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	
														河	河	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	
																豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	
																豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	
																豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	
																豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	

滿洲帝國鑛業法令

陽										遼														
20	19	同	18	17	16	15	14	同	13	12	11	10	9	同	8	7	6	5	4	3	同	2	同	1
岫	同	小	同	河	遼	沙	龍	雲	同	連	橋	本	新	鳳	同	養	城	清	義	長	寬	同	草	平
崑崙	嶺	偏	欄	河	王	裡	站	廟	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安
安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東	安東
岫崑崙	蓋平	岫崑崙	岫崑崙	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽
莊河	海城	海城	海城	海城	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽

五五

區		區		區		區		區		區		區								
2	1	10	5	同	22	同	21	17	16	11	6	同	25	同	24	同	23	22	同	21
東哈拉勿索	阿伯託(アボト)ハチクローエ乙	東太木站	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江
龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江	龍江
彰武	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆	瞻榆

奉			區										化											
3	同	2	同	1	23	22	21	20	19	同	18	同	同	17	16	16	15	同	14	同	13	12	同	11
李家台	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林
遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽	遼陽

滿洲帝國鑛業法令

區																								
25	同	24	同	23	22	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	同	7	同	6	5	4
新民	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武	彰武
法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫	法庫
遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中	遼中

五四

錦 州												區 山 黑												
12	11	10	8	7	6	5	4	同	3	同	2	同	1	20	15	10	9	8	7	同	5	同	4	3
錦	義	西	陽	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	貝	清	白	廣	營	庫	同	黑	同	新	彰
州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	子	河	土	裕	歡	倫	山	山	武	武	武
州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	府	邊	府	泉	池	州	州	州	州	州	州
錦	義	復	盤	北	蓋	蓋	營	營	台	海	黑	新	朝	阜	黑	阜	彰	彰	錦	錦	錦	錦	錦	
義	錦	錦	山	鎮	平	平	口	口	安	城	山	民	陽	新	山	新	武	武	奉	奉	奉	奉	奉	
錦	義	錦	錦	盤	復	營	營	海	盤	盤	山	新	朝	朝	北	阜	阜	北	北	奉	奉	奉	奉	
西	西	西	西	鎮	鎮	口	口	城	山	山	台	鎮	陽	陽	鎮	新	新	鎮	鎮	天	天	天	天	
錦	錦	錦	錦	鎮	鎮	口	口	城	山	山	台	鎮	西	西	義	義	義	義	義	天	天	天	天	
錦	錦	錦	錦	鎮	鎮	口	口	城	山	山	台	鎮	西	西	義	義	義	義	義	天	天	天	天	

區 順 旅	區
12 7 6 2 1	19 18 17 16 13
鳳 普 復 魏 得	寧 高 虹 劉 杏
鳴 爾 子 利	遠 螺 龍 西
島 店 州 窩 寺	州 橋 縣 台 關
奉 奉 奉 奉 奉	錦 錦 錦 錦 錦
天 天 天 天 天	州 州 州 州 州
復 復 復 蓋 復	興 錦 義 朝 朝
	城 西 西 陽 陽
	錦 錦 錦 錦 錦
	州 州 州 州 州

別表第三號

單位區域之邊長及面積表ノ用法

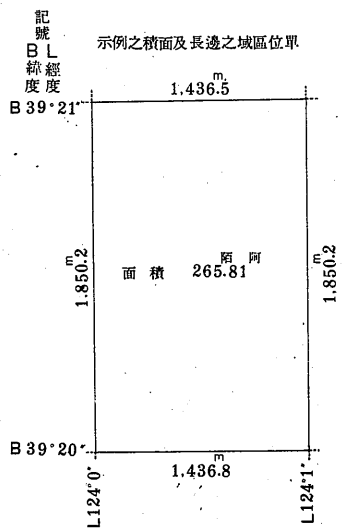
本表ハ緯度各一分毎ニ單位區域ノ東西邊長、南北邊長及コノ四邊ニ圍ム區域ノ面積ヲ揭ゲタルモノナリ之ガ用法左ノ如シ

例 今求ムル單位區域ガ緯度三十九度二十分ト緯度三十九度二十一分トノ間ナル場合ハ其ノ區域ノ北邊ノ長サハ東西邊長欄ニ於テ緯度39.21ニ相當スル1,436.5南邊ノ長サハ緯度39.20ニ相當スル1,436.8ニテ示ン東邊及西邊ノ長サハ共ニ同長度ナルヲ以テ南北邊長欄ニ於テ東西邊長1,436.8ト1,436.5トノ中間段位ニ在ル1,850.2ヲ採リ其ノ面積ハ面積欄ニ於テ南北邊長1,850.2ト同段位ニ在ル265.8

81ヲ採ルベシ之ガ例示ハ別圖ノ如シ
又緯度四十九度零分ト緯度四十九度一分ノ間ニ在ル單位區域ノ場合モ亦同ジク本表ノ之ニ相當スル緯度ニ依リ其ノ區域ノ北邊ノ長サヲ1,219.0南邊ノ長サヲ1,219.4東邊西邊ハ共ニ1,853.3面積ハ225.96トスルガ如シ
(別圖)

注意

經度ヲ異ニスルモ同一緯度間ニ屬スル單位區域ノ東西邊長、南北邊長及面積ハ各同一ナリトス



單位區域之邊長及面積表

Table with 16 columns (緯度, 東西邊長, 南北邊長, 面積) and 80 rows of data, organized into four groups of 20 rows each, representing area measurements in various units.

Table with 16 columns (緯度, 東西邊長, 南北邊長, 面積) and 48 rows of data, continuing the area measurements from the previous table.

B-2

緯度	東西邊長	南北邊長	面積	緯度	東西邊長	南北邊長	面積	緯度	東西邊長	南北邊長	面積	緯度	東西邊長	南北邊長	面積
51° 8'	1,168.4	1,854.0	216.22	51° 38'	1,153.8	1,854.1	213.89	52° 7'	1,141.5	1,854.3	211.63	52° 37'	1,123.7	1,854.4	209.27
9	1,166.0	1,854.0	216.14	39	1,153.4	1,854.1	213.81	8	1,141.1	1,854.3	211.55	38	1,122.2	1,854.4	209.19
10	1,165.6	1,854.0	216.06	40	1,152.9	1,854.2	213.73	9	1,140.7	1,854.3	211.47	39	1,121.8	1,854.4	209.11
11	1,165.2	1,854.0	215.98	41	1,152.5	1,854.2	213.65	10	1,140.2	1,854.3	211.39	40	1,121.4	1,854.5	209.03
12	1,164.8	1,854.0	215.91	42	1,152.1	1,854.2	213.58	11	1,139.8	1,854.3	211.31	41	1,121.0	1,854.5	208.95
13	1,164.3	1,854.0	215.83	43	1,151.7	1,854.2	213.50	12	1,139.6	1,854.3	211.23	42	1,120.5	1,854.5	208.87
14	1,163.9	1,854.0	215.75	44	1,151.3	1,854.2	213.42	13	1,139.0	1,854.3	211.15	43	1,120.1	1,854.5	208.79
15	1,163.5	1,854.0	215.67	45	1,150.8	1,854.2	213.34	14	1,138.5	1,854.3	211.08	44	1,119.7	1,854.5	208.71
16	1,163.1	1,854.0	215.59	46	1,150.4	1,854.2	213.26	15	1,138.1	1,854.3	211.00	45	1,119.2	1,854.5	208.63
17	1,162.7	1,854.0	215.52	47	1,150.0	1,854.2	213.19	16	1,137.7	1,854.3	210.92	46	1,118.8	1,854.5	208.55
18	1,162.2	1,854.0	215.44	48	1,149.6	1,854.2	213.11	17	1,137.2	1,854.3	210.84	47	1,118.4	1,854.5	208.47
19	1,161.8	1,854.0	215.36	49	1,149.1	1,854.2	213.03	18	1,136.8	1,854.3	210.76	48	1,118.0	1,854.5	208.39
20	1,161.4	1,854.1	215.28	50	1,148.7	1,854.2	212.95	19	1,136.4	1,854.3	210.68	49	1,117.5	1,854.5	208.31
21	1,161.0	1,854.1	215.21	51	1,148.3	1,854.2	212.88	20	1,135.9	1,854.4	210.60	50	1,117.1	1,854.5	208.23
22	1,160.5	1,854.1	215.13	52	1,147.9	1,854.2	212.80	21	1,135.5	1,854.4	210.52	51	1,116.7	1,854.5	208.15
23	1,160.1	1,854.1	215.05	53	1,147.5	1,854.2	212.72	22	1,135.1	1,854.4	210.44	52	1,116.2	1,854.5	208.07
24	1,159.7	1,854.1	214.98	54	1,147.0	1,854.2	212.65	23	1,134.6	1,854.4	210.36	53	1,115.8	1,854.5	207.99
25	1,159.3	1,854.1	214.90	55	1,146.6	1,854.2	212.57	24	1,134.2	1,854.4	210.29	54	1,115.4	1,854.5	207.91
26	1,158.9	1,854.1	214.82	56	1,146.2	1,854.2	212.49	25	1,133.8	1,854.4	210.21	55	1,115.0	1,854.5	207.83
27	1,158.4	1,854.1	214.74	57	1,145.8	1,854.2	212.41	26	1,133.4	1,854.4	210.13	56	1,114.6	1,854.5	207.75
28	1,158.0	1,854.1	214.67	58	1,145.3	1,854.2	212.33	27	1,132.9	1,854.4	210.05	57	1,114.2	1,854.5	207.67
29	1,157.5	1,854.1	214.59	59	1,144.9	1,854.2	212.26	28	1,132.5	1,854.4	209.97	58	1,113.8	1,854.5	207.59
30	1,157.1	1,854.1	214.51	59° 0'	1,144.5	1,854.2	212.18	29	1,132.1	1,854.4	209.89	59	1,113.3	1,854.5	207.51
31	1,156.7	1,854.1	214.43	1	1,144.1	1,854.3	212.10	30	1,131.7	1,854.4	209.81	0'	1,112.9	1,854.5	207.43
32	1,156.3	1,854.1	214.36	2	1,143.6	1,854.3	212.02	31	1,131.2	1,854.4	209.73	1	1,112.4	1,854.6	207.35
33	1,155.9	1,854.1	214.28	3	1,143.2	1,854.3	211.94	32	1,130.8	1,854.4	209.66	2	1,112.0	1,854.6	207.27
34	1,155.5	1,854.1	214.20	4	1,142.8	1,854.3	211.87	33	1,130.4	1,854.4	209.58	3	1,111.5	1,854.6	207.19
35	1,155.1	1,854.1	214.12	5	1,142.4	1,854.3	211.79	34	1,130.0	1,854.4	209.50	4	1,111.1	1,854.6	207.11
36	1,154.6	1,854.1	214.04	6	1,141.9	1,854.3	211.71	35	1,129.5	1,854.4	209.42	5	1,110.7	1,854.6	207.03
37	1,154.2	1,854.1	213.97	7	1,141.5	1,854.3	211.63	36	1,129.1	1,854.4	209.34	6	1,110.2	1,854.6	206.95
38	1,153.8	1,854.1	213.90					37	1,128.7	1,854.4	209.26				

緯度	東西邊長	南北邊長	面積	緯度	東西邊長	南北邊長	面積
53° 6'	1,116.2	1,854.6	206.97	53° 29'	1,106.2	1,854.7	205.13
7	1,115.8	1,854.6	206.89	30	1,105.8	1,854.7	205.05
8	1,115.3	1,854.6	206.81	31	1,105.4	1,854.7	204.97
9	1,114.9	1,854.6	206.73	32	1,104.9	1,854.7	204.89
10	1,114.5	1,854.6	206.65	33	1,104.5	1,854.7	204.81
11	1,114.1	1,854.6	206.57	34	1,104.1	1,854.7	204.73
12	1,113.6	1,854.6	206.49	35	1,103.6	1,854.7	204.65
13	1,113.2	1,854.6	206.41	36	1,103.2	1,854.7	204.57
14	1,112.7	1,854.6	206.33	37	1,102.8	1,854.7	204.49
15	1,112.3	1,854.6	206.25	38	1,102.3	1,854.7	204.41
16	1,111.9	1,854.6	206.17	39	1,101.9	1,854.7	204.33
17	1,111.4	1,854.6	206.09	40	1,101.5	1,854.8	204.26
18	1,111.0	1,854.6	206.01	41	1,101.0	1,854.8	204.18
19	1,110.6	1,854.6	205.93	42	1,100.6	1,854.8	204.10
20	1,110.1	1,854.7	205.85	43	1,100.2	1,854.8	204.02
21	1,109.7	1,854.7	205.77	44	1,099.7	1,854.8	203.94
22	1,109.3	1,854.7	205.69	45	1,099.3	1,854.8	203.86
23	1,108.8	1,854.7	205.61	46	1,098.9	1,854.8	203.78
24	1,108.4	1,854.7	205.53	47	1,098.4	1,854.8	203.70
25	1,108.0	1,854.7	205.45	48	1,098.0	1,854.8	203.62
26	1,107.5	1,854.7	205.37	49	1,097.6	1,854.8	203.54
27	1,107.1	1,854.7	205.29	50	1,097.1	1,854.8	203.46
28	1,106.7	1,854.7	205.21				
29	1,106.2	1,854.7	205.13				

B - 2

圖 二 第

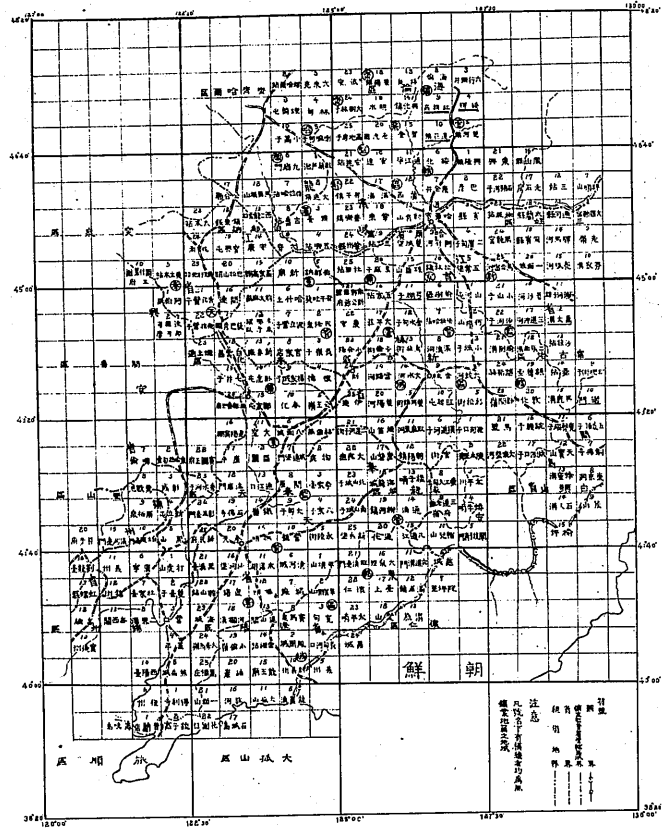
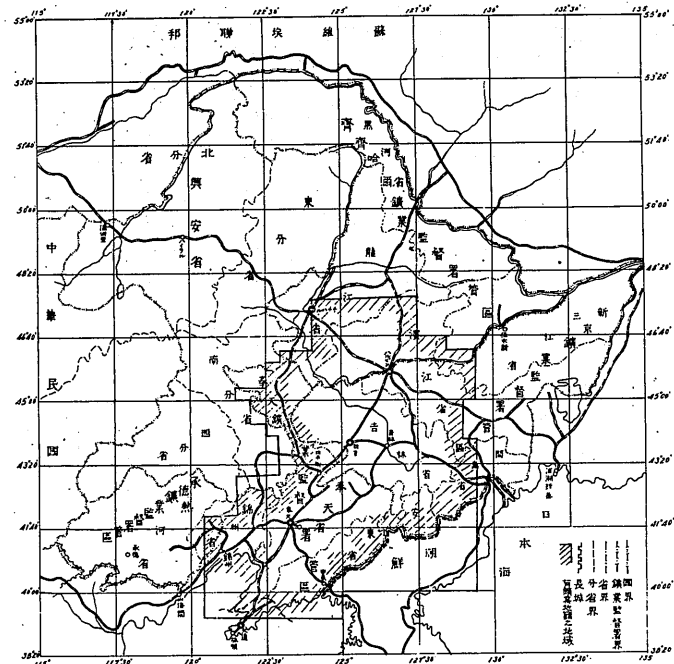
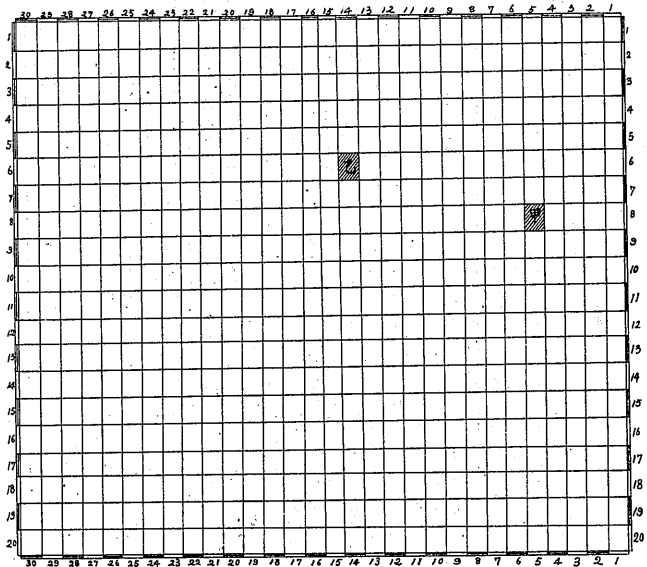


圖 一 第



第三圖



說明

本圖ハ鑛業地籍ノ號内ニ於ケル條及段ノ關係及條段表示方法ヲ例示ス
 號ハ經度ノ三十分ヲ三十分間ニ緯度ノ二十分ヲ二十分間ニ區分シ六百單位區域ヲ成ス而シテ單位區域ノ地籍ノ條段ハ其ノ數位ニ依リ之ヲ示ス例ベバ本圖ノ甲單位區域ハ五條八段ニシテ乙單位區域ハ一四條六段トスルガ如シ若シ本第二圖ヲ海龍城區内ニ於ケル一二號(朝陽鎮)ナリトセバ甲單位區域ノ地籍ノ表示ハ海龍城區一二號五條八段トス

鑛業登錄令

康德二年八月一日 勅令第八十七號

第一章 總則

- 第一條 鑛業ニ關スル登錄ハ鑛業監督署長之ヲ爲ス
- 第二條 同一ノ鑛業權又ハ租鑛權ニ關シテ登錄シタル權利ノ順位ニ付法令ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ順位ハ登錄ノ前後ニ依ル
- 第三條 附記登錄ノ順位ハ主登錄ノ順位ニ依リ附記登錄間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ル
- 第四條 假登錄ヲ爲シタルモノニ付本登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ順位ハ假登錄ノ順位ニ依ル
- 第五條 本令ニ於テ鑛業監督署又ハ鑛業監督署長トアルハ興安各省内ノ旗制ヲ施行スル地域ニアリテハ興安各省公署又ハ興安各省長トス
- 第二章 鑛業原簿
- 第六條 鑛業ニ關スル登錄ハ鑛業監督署ニ備フル鑛業原簿ニ之ヲ爲ス
- 共同鑛業權者及共同租鑛權者ニ付テハ各鑛業權共同人名簿及租鑛權共同人名簿ヲ、鑛區圖ニ付テハ鑛區圖綴込帳ヲ設ケ鑛業原簿ノ一部トス
- 第七條 鑛業原簿ノ全部又ハ一部ガ滅失シタル場合ニ於テハ

滿洲帝國鑛業法令

主官部大臣ハ之ガ回復ニ必要ナル手續ヲ命ズルコトヲ得
 前項ノ規定ニヨリ鑛業原簿ノ回復ヲ爲シタルトキハ鑛業監督署長ハ其ノ登錄ノ謄本又ハ抄本ヲ登錄名義人ニ交付スベシ

第八條 鑛業原簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又ハ鑛業原簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求セントスル者ハ主官部大臣ノ定ムル手数料ヲ納付スベシ
 鑛業原簿ノ謄本若ハ抄本ノ送付ヲ請求セントスル者ハ前項ノ手数料ノ外ニ郵便切手ヲ納付スベシ

第三章 登錄手續

第一節 通則

- 第九條 登錄ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外申請又ハ囑託ニ因ルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ
 申請ニ因ル登錄ニ關スル規定ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外囑託ニ因ル登錄ノ手續ニ付之ヲ準用ス
- 第十條 登錄ノ申請ハ登錄權利者及登錄義務者又ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ爲スベシ
- 第十一條 判決又ハ相續其ノ他ノ一般承繼ニ因ル登錄ノ申請ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得
- 第十二條 登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登錄ノ申請ハ登錄名義人ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得
- 第十三條 左ノ登錄ニ付テハ官廳又ハ公署ハ囑託書ニ登錄原

六九

因テ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ囑託スベシ

一 處分ノ制限ノ登録

第十四條 礦業權ヲ取消シタルトキ又ハ取消處分ヲ取消シタルトキハ主管部大臣ハ其ノ旨ヲ礦業監督署長ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ礦業監督署長ハ職權ヲ以テ礦業權ノ消滅又ハ回復ノ登録ヲ爲スベシ

第十五條 租礦權者ニ對シ事業ヲ爲スコトヲ禁止シタルトキ又ハ禁止處分ヲ取消シタルトキハ主管部大臣ハ其ノ旨ヲ礦業監督署長ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ礦業監督署長ハ職權ヲ以テ租礦權ノ消滅又ハ回復ノ登録ヲ爲スベシ

第十六條 登録ヲ申請スルニハ申請書ヲ提出スベシ

申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

一 礦區所在地

二 礦業權ノ登録番號

三 申請人ノ氏名及住所

四 代理人又ハ代表者ニ依リテ申請スルトキハ其ノ氏名及住所

五 登録原因及其ノ日附

六 登録ノ目的

七 年月日

第三十條第二項ノ規定ニ依ル租礦權又ハ低當權設定ノ申請ニ付テハ前項第二號ノ記載ヲ要セズ

第十七條第二項ノ申請ニ付テハ第一項第五號ノ記載ヲ要セズ

第十七條 登録ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一 登録原因ヲ證スル書面

二 登録原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

三 代理人又ハ代表者ニ依リテ登録ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

礦業權又ハ之ニ關スル權利ノ拋棄ニ因ル登録ノ抹消ノ申請ニ付テハ前項第一號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セズ但シ共同礦業又ハ共同租礦ノ場合ニ於テ代表者ニ依リテ申請スルトキハ又ハ共同租礦權者又ハ共同租礦權者ノ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附スベシ

登録原因ヲ證スル書面ガ執行力アル判決ナルトキハ第一項第二號ニ掲ゲタル書面ヲ提出スルコトヲ要セズ

國又ハ共同礦業者ハ共同租礦ノ代表者ニ依リテ申請スル場合ニ於テハ第一項第三號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セズ

第十八條 債權者ガ民法第二百四十二條及第二百四十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登録ヲ申請スルニハ前條第一項ニ掲グル書面ノ外代位原因ヲ證スル書面ヲ添附シ且申請

書ニ第十六條第一項ニ記載スル事項ノ外債權者ノ氏名及住所並代位原因ヲ記載シ之ニ署名捺印スベシ

第十九條 左ノ場合ニ於テハ申請人ハ申請書ニ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

一 申請人ガ登録權利者又ハ登録義務者ノ相續人其ノ他ノ一般承繼人ナルトキ

二 登録名義人ガ其ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ヲ申請スルトキ

三 死亡ニ因ル共同礦業權者又ハ共同租礦權者退任ノ登録ヲ申請スルトキ

第二十條 申請書ニ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スベキ場合ニ於テハ其ノ第三者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシメテ其ノ書面ニ代フルコトヲ得

第二十一條 數箇ノ礦業權ニ對シ低當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ礦區同一礦業監督署ノ管轄區域内ニ存スルトキハ登録原因及登録ノ目的ガ同一ナルトキニ限り同一ノ申請書ヲ以テ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ租礦權ニ對スル低當權設定ノ登録ノ申請及礦業權、租礦權又ハ低當權ノ處分ノ制限ノ登録並其ノ處分ノ制限ノ抹消ノ登録ヲ囑託スル場合ニ付之ヲ準用ス

第二十二條 礦業監督署長ハ受附ノ順序ニ從ヒテ登録ヲ爲スベシ

第二十三條 左ノ場合ニ於テハ登録ノ申請ハ之ヲ受理セズ

一 事件ガ管轄ニ屬セザルトキ

二 事件ガ登録スベキモノニ非ザルトキ

三 申請ガ第十條ノ規定ニ違反スルトキ

四 申請書ガ方式ニ適合セザルトキ

五 申請書ニ掲グル礦業權、租礦權又ハ低當權ノ表示ガ礦業原簿ト符合セザルトキ

六 第十九條第一號場合ヲ除クノ外申請書ニ掲グル登録義務者及共同礦業者ハ共同租礦ノ代表者ノ表示ガ礦業原簿ト符合セザルトキ又ハ申請人ガ登録名義ナル場合ニ於テ其ノ表示ガ礦業原簿ト符合セザルトキ

七 申請書ニ掲グル事項ガ登録原因ヲ證スル書面ト符合セザルトキ

八 申請書ニ必要ナル書面ヲ添附セザルトキ

九 登録稅ヲ納付セザルトキ

第二十四條 登録名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録又ハ共同礦業權者若ハ共同租礦權者ノ退任又ハ其ノ代表者變更ノ登録ハ附記ニ依リテ之ヲ爲スベシ

第二十五條 礦區所在地ノ行政區劃又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ礦業原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

前項ノ變更アリタルトキハ礦業監督署長ハ職權ヲ以テ附記

滿洲帝國礦業法令

七二

ニ依リ其ノ變更ノ登錄ヲ爲スベシ

第二十六條 登錄ヲ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スベシ第十八條ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ之ヲ爲スベシ

錯誤又ハ遺漏ガ鑛業權ノ表示ニ關スル登錄ニ係ルトキハ鑛業監督署長ハ職權ヲ以テ附記ニ依リ更正ノ登錄ヲ爲シ其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スベシ

錯誤又ハ遺漏ガ前項ノ登錄以外ノ登錄ニ係ルトキハ登錄更正ノ申請アリタル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者ナキトキ又ハ申請書ニ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ牒本ヲ添附シタルトキニ限り附記ニ依リ更正ノ登錄ヲ爲スベシ

第二十七條 抹消シタル登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ牒本ヲ添附スベシ

第二節 鑛業權ニ關スル登錄手續

第二十八條 鑛業ノ出願許可スベキモノト決定シタル場合ニ於テ登錄稅ノ納付アリタルトキハ鑛業監督署長ハ職權ヲ以テ鑛業權ノ設定又ハ變更ノ登錄ヲ爲スベシ鑛業權ノ表示ノ變更、鑛物ノ名稱ノ更正ニ依リ表示ノ更正又ハ鑛區ノ訂正

ノ場合又同ジ

第二十九條 死亡、破産又ハ禁治産ニ因ル共同鑛業權者脫退ノ登錄ノ申請ハ登錄權利者又ハ登錄義務者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第三十條 鑛業監督署長第二十八條ノ規定ニ依リ鑛區ノ合併分割又ハ分合ニ因ル鑛業權設定ノ登錄ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨ヲ抵當權者又ハ租權者ニ通知スベシ

抵當權者又ハ租權者ハ前項ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ抵當權又ハ租權設定ノ登錄ヲ申請スベシ此ノ場合ニ於テハ抵當權ノ順位ハ協定ノ定ムル所ニ依ル

前項ノ申請ニ付テハ最後ニ通知ヲ受ケタルモノニ對スル前項ノ期間満了ノ日ノ翌日ニ於テ鑛業權設定ノ登錄ト共ニ抵當權又ハ租權設定ノ登錄ヲ爲スベシ

第三十一條 鑛業法第三十三條第四項ノ規定ニ基ク鑛業權移轉ノ申請ハ租權者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ申請書ニハ鑛業監督署長ノ許可書ヲ添附スベシ

第三十二條 鑛業權移轉ノ登錄ノ申請書ニハ登錄權利者ガ鑛業法第四條ノ規定ニ該當スル者ナルコトヲ證スル書面及鑛業稅ヲ完納シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第三十三條 鑛業權ノ處分ノ制限ノ登錄ハ附記ニ依リ之ヲ爲スベシ

第三節 租權ニ關スル登錄手續

第三十四條 租權制定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ租金ヲ記載シ租金ノ支拂方法若ハ支拂時期又ハ租權權ノ存續期間ノ定アルトキハ之ヲ記載スベシ

第三十五條 第三十條第二項ノ規定ニ依リ租權設定ノ登錄ノ申請ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 租權ノ設定又ハ移轉ノ登錄ノ申請書ニハ登錄權利者ガ鑛業法第四十五條ノ規定ニ該當スル者ナルコトヲ證スル書面及鑛業稅ヲ完納シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第三十七條 第二十六條第三項ノ規定ハ租權權ノ存續期間ノ更新ノ登錄及租權權ノ變更ノ登錄ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第三十八條 第二十九條ノ規定ハ死亡、破産又ハ禁治産ニ因ル共同租權權者脫退ノ登錄ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第三十九條 第三十三條ノ規定ハ租權權ノ處分ノ制限ノ登錄ニ付之ヲ準用ス

第四節 抵當權ニ關スル登錄手續

第四十條 抵當權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權者、債務者及債權額ヲ記載シ登錄原因ニ辨濟期若ハ利息ニ關スル定アルトキ又ハ債權ニ條件ヲ附シタルトキハ

滿洲帝國鑛業法令

之ヲ記載スベシ

第四十一條 債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル抵當權ノ移轉ノ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スベシ

第四十二條 第三十五條ノ規定ハ第三十條第二項ノ規定ニ依リ抵當權設定ノ登錄ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第四十三條 第二十六條第三項ノ規定ハ抵當權變更ノ登錄ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第四十四條 抵當權ノ移轉及處分ノ制限ノ登錄ハ附記ニ依リ之ヲ爲スベシ

第五節 抹消ニ關スル登錄手續

第四十五條 鑛業權又ハ之ニ關スル權利ノ拋棄ニ因ル登錄ノ抹消ノ申請ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第四十六條 鑛區ノ合併、分割又ハ分合ニ因ル鑛業權設定ノ登錄ヲ爲シタルニ因リ其ノ合併、分割又ハ分合前ノ鑛業權消滅シタルトキハ鑛業監督署長ハ職權ヲ以テ其ノ原因ヲ記載シ抹消ノ登錄ヲ爲スベシ

第四十七條 鑛業法第三十三條第四項ノ規定ニ基ク鑛業權移轉ノ登錄ヲ爲シタルニ因リ移轉前ノ租權權消滅シタルトキハ鑛業監督署長ハ職權ヲ以テ其ノ原因ヲ記載シ抹消ノ登錄ヲ爲スベシ

第四十八條 鑛業監督署長抵當權ノ登錄アル鑛業權ニ關シ取

消又ハ拋棄ニ因ル抹消ノ登録ヲ爲シタルトキハ同時ニ競賣又ハ租權ノ目的ノ範圍内ニ於テ其ノ礦業權ハ仍存續スル旨ヲ記載スベシ但シ礦業法第三十條又ハ第三十一條第一號ノ規定ニ依ル礦業權ノ取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

礦業法第三十三條第二項又ハ第四項ノ場合ニ於テ抵當權者競賣ノ要求ヲ爲サザルトキ、競賣申立ノ登録アリタル場合ニ於テ其ノ抹消ノ登録ノ囑託アリタルトキ、租權者礦業權移轉ノ申請ヲ爲サザルトキ又ハ其ノ申請不許可ノ爲リタルトキハ礦業監督署長ハ職權ヲ以テ其ノ旨ヲ登録シタル後前項ノ存續ニ關スル記載ヲ抹消スベシ

第四十九條 前條ノ規定ハ期間ノ滿了ニ因ル場合ヲ除クノ外抵當權ノ登録アル租權ニ關シ抹消ノ登録ヲ爲シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第五十條 期間ノ滿了ニ因リ租權權ガ消滅シタルトキハ礦業監督署長ハ職權ヲ以テ其ノ原因ヲ記載シ抹消ノ登録ヲ爲スベシ

第五十一條 抵當權ガ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其ノ死亡ヲ證スル書面ヲ添付スルトキハ登録權利者ノミニテ登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第五十二條 登録權利者ガ登録義務者ノ行方ノ知レザルニ因リ之ト共ニ登録ノ抹消ヲ申請スルコト能ハザルトキハ民事訴訟ニ關スル法令ノ規定ニ從ヒテ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

設定、移轉、變更若ハ消滅ノ登録ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件ガ具備セザルトキ

二 前條ノ事項ニ關シ請求權ヲ保全セントスルトキ
第五十六條 假登録權利者ハ假登録ノ目的タル礦區ノ所在地ヲ管理スル地方法院ニ對シ假登録原因ヲ疏明シテ假處分ニ依ル假登録ノ囑託ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請アリタルトキハ所轄地方法院ハ囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シ假登録ノ囑託ヲ爲スベシ
假處分ニ依ル假登録ノ申請ヲ却下スル裁決ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ抗告ニ付テハ民事訴訟ノ抗告ニ關スル規定ヲ準用ス
第五十七條 假登録ノ申請ハ假登録義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ共ノ承諾書ヲ添附シテ假登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第五十八條 假登録ノ抹消ハ假登録名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得
申請書ニ假登録名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁決ノ謄本ヲ添付シタルトキハ登録上ノ利害關係人ヨリ假登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第五十九條 豫告登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲スモノトス
一 登録原因ノ無効又ハ取消ニ因ル登録ノ抹消又ハ回復ノ訴訟ノ提起アリタルトキ但シ登録原因ノ無効又ハ取消

滿洲帝國礦業法令

トヲ得
前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ謄本ヲ添附シ登録權利者ノミニテ登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ抵當權ガ擔保スル債權ノ證書及辨濟ノ受領證書ヲ添付シタルトキハ登録權利者ノミニテ抵當權ニ關スル登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第五十三條 第二十七條ノ規定ハ礦業權又ハ租權ノ拋棄ニ因ル場合ヲ除クノ外登録ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ抹消ニ付登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ付之ヲ準用ス

礦業權又ハ租權ノ拋棄ニ因ル登録ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ假登録又ハ豫告登録ヲ爲シタル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ添付スベシ

第五十四條 第十三條ノ規定ニ依リ公賣處分ニ因ル礦業權又ハ租權移轉ノ登録ノ囑託アリタル場合ニ於テハ礦業監督署長ハ職權ヲ以テ處分ノ制限ノ登録ヲ抹消シ若シ租權權又ハ抵當權ノ登録アルトキハ其ノ登録ヲ抹消スベシ

第四章 假登録及豫告登録
第五十五條 假登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲スモノトス
一 礦業權ノ移轉、租權權ノ設定若ハ移轉又ハ抵當權ノ

消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル
二 礦業法第八十七條ノ規定ニ依リ礦業權ニ關スル出願ノ許可ニ對シ訴願ノ提起アリタルトキ

第六十條 前條第一號ニ掲グル訴テ受理シタル法院ハ囑託書ニ訴狀ノ謄本若ハ抄本ヲ受附シテ豫告登録ノ囑託ヲ爲スベシ

前條第二號ニ掲グル訴願ヲ受理シタルトキハ主管部大臣ハ其ノ旨ヲ礦業監督署長ニ通知スベシ
前項ノ通知アリタルトキハ礦業監督署長ハ職權ヲ以テ豫告登録ヲ爲スベシ

第六十一條 第五十九條第一號ニ掲グル訴ヲ却下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判ガ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付和解アリタルトキハ第一審法院ハ囑託書ニ裁判ノ謄本若ハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若ハ和解ヲ證スル法院書記官ノ書面ヲ添附シテ豫告登録ノ抹消ヲ囑託スベシ

第六十二條 主管部大臣第五十九條第二號ニ掲ゲタル訴願ヲ却下シ、請求ヲ否認シ又ハ訴願ノ取下アリタルトキハ其ノ旨ヲ礦業監督署長ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ礦業監督署長ハ職權ヲ以テ豫告

滿洲帝國鑛業法令

登錄ノ抹消ヲ爲スベシ

第五章 異議及訴願

第六十三條 登錄ニ關スル處分ヲ不當トスル者ハ其ノ處分ノ了リタル日ヨリ三十日以内ニ鑛業監督署長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

異議ニ對スル決定ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

前項ノ決定ニハ理由ヲ附スベシ

第六十四條

異議ノ決定ニ不服アル者ハ主管部大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ訴願ハ前條第二項ノ決定書ノ送達又ハ公示アリタル日ヨリ起算シ六十日ヲ經過シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ズ

前條第二項及第三項ノ規定ハ訴願ノ裁決ニ付之ヲ準用ス

附 則

本令ハ鑛業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業税法

康德二年八月一日 勅令第八十六條

第一章 總 則

第一條 鑛業權者ニハ本法ニ依リ鑛業稅ヲ課ス

鑛業權者ガ租鑛權ヲ設定シタルトキハ租鑛權者ヲ以テ鑛業稅ノ納稅義務者トス

七六

第二條 共同鑛業權者又ハ共同租鑛權者ハ連帶シテ鑛業稅納付ノ義務ヲ負フ

第三條 鑛業稅ハ鑛區稅及鑛產稅トス

第四條 鑛業稅ハ納期開始ノ時ニ於テ納稅義務者タルモノヨリ之ヲ徵收ス

第二章 鑛 區 稅

第五條 鑛區稅ノ稅率ハ鑛業法第三十六條第二項ニ規定スル鑛區ノ單位區域ノ一ニ付毎年三百圓トス但シ鑛業法第三十七條ノ規定ニ該當スル鑛區ニ付テハ一兩ニ付毎年一圓二角トス

前項ノ稅率ハ鑛業權設定ノ日ヨリ起算シテ三年間ニ限リ之ヲ半減ス但シ合併、分割又ハ分合ニ因リ生ジタル鑛區ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 鑛區稅ハ毎年十二月中ニ翌年分ヲ徵收ス

第七條 鑛業權設定ノ登錄アリタル年分ノ鑛區稅ハ其ノ登錄ノ月ヨリ起算シ月割ヲ以テ直チニ之ヲ徵收ス

前項ノ規定ハ合併、分割又ハ分合ニ因リ生ジタル鑛區ニ對シ増徴スベキ鑛區稅及鑛業權ノ變更ニ因リ増加シタル區域ニ對スル鑛區稅ノ徵收ニ付之ヲ準用ス

第八條 鑛業法第三十條ニ依リ鑛業權ノ取消アリタル場合ニ於テハ納稅人ノ請求ニ依リ既ニ徵收シタル鑛區稅額ニ相當スル金額ヲ交付ス

前項ノ金額ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ請求書ニ鑛區稅納稅濟證及鑛業權ノ取消アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附シテ其ノ鑛區稅ヲ納付シタル稅捐局ヲ管轄スル稅務監督署長ニ提出スベシ

第一項ノ請求ハ鑛業權ノ取消アリタル後一年ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第三章 鑛 產 稅

第九條 鑛業稅ハ鑛產物ニ付之ヲ賦課ス

第十條 鑛產稅ノ稅率ハ鑛產物ノ價格ノ千分ノ十五トス

前項ノ鑛產物ノ價格ハ該當鑛區最寄主要市場ニ於ケル前月中ノ價格ニ依リ財政部大臣、實業部大臣又ハ蒙政部大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第十一條 金鑛、銀鑛、鉛鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、石油及油母頁岩ニ付テハ鑛產稅ヲ課セズ

第十二條 納稅義務者ハ前月中ニ於テ採掘シタル鑛產物ノ數量ヲ其ノ種類、名稱及平均品位ノ異ル毎ニ區分シテ記載シタル申告書ヲ毎月十五日迄ニ當該鑛區所轄稅捐局ニ提出スベシ但シ鑛業權消滅シ又ハ鑛業權ノ消滅ニ因リ租鑛權消滅シタル場合ニ於テハ直ニ之ヲ提出スベシ

第十三條 鑛產稅ノ課稅標準ハ毎年一月及七月ニ於テ前六箇月間ニ對スル分ヲ前條ノ申告ニ依リ、申告ナキトキ又ハ申告ヲ不相當ト認ムルトキハ調査ノ上稅捐局長之ヲ決定ス

第十四條 鑛業權消滅シ又ハ鑛業權ノ消滅ニ因リ租鑛權消滅シタル場合ニ於テハ直ニ之ヲ提出スベシ

第十五條 鑛業權消滅シ又ハ鑛業權ノ消滅ニ因リ租鑛權消滅シタル場合ニ於テハ直ニ之ヲ提出スベシ

第十六條 納稅義務者稅捐局長ノ決定シタル課稅標準ノ基礎タル鑛產物ノ數量ニ付異議アルトキハ稅務監督署長ニ對シ審査ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ請求アリタル場合ト雖稅金ノ徵收ハ之ヲ猶豫セズ

第一項ノ審査ノ請求ヲ爲サントスル者ハ第十四條ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ起算シ二十日以内ニ不服ノ事由ヲ記載シタル書面ニ證據書類ヲ添ヘ其ノ決定ヲ爲シタル稅捐局長ヲ經由シ稅務監督署長ニ提出スベシ

第十七條 稅務監督署長前條第一項ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査ノ上其ノ課稅標準ヲ決定シ書面ヲ以テ之ヲ納稅義務者ニ通知ス但シ其ノ請求ガ手續ニ違背シタルモノナルトキハ書面ヲ以テ之ヲ却下ス

滿洲帝國鑛業法令

七七

滿洲帝國鑛業法令

第四章 課税ノ制限

第十八條 鑛業税ヲ納ムル者ニハ其ノ鑛業ニ付營業税又ハ法入營業税ヲ課セズ

第十九條 地方團體ハ鑛業税ヲ納ムル者ニ對シテハ鑛區税ニ付其ノ百分ノ二十五以内、鑛產税ニ付其ノ百分ノ六十五以内ノ附加捐ヲ課スルノ外其ノ鑛業及直接鑛業ノ用ニ供スル施設ニ付一切ノ課税ヲ爲スコトヲ得ズ

第五章 取 締

第二十條 納税義務者ハ鑛業ニ關スル帳簿ヲ備ヘ之ニ毎日鑛產物ノ種類及名稱毎ニ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 採掘、選鑛、製鍊、移入及移出ノ數量及其ノ平均品位並ニ移出ノ先
- 二 賣却シタル數量及價格
- 三 自己ノ消費シタル數量及價格並ニ其ノ用途

第二十一條 稅務官吏鑛業税課税取締上必要アリト認ムルトキハ納稅義務者ノ營業所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿、書類又ハ鑛產物ヲ檢査スルコトヲ得

第六章 罰 則

第二十二條 詐偽其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ鑛業税ヲ連脱シ又ハ連脱セントシタル者ハ其ノ鑛業税ノ一倍以上十倍以下ニ相當スル罰金ニ處ス但シ罰金額ハ三十圓ヲ下ルコトヲ得ズ

第二十三條 第十二條ニ依ル申告ヲ怠リ若ハ之ヲ偽リ又ハ第

七八

二十條ニ依ル帳簿ノ記載ヲ怠リタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條 本法ニ基ク稅務官吏ノ職務ノ執行ヲ阻害シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本法ハ鑛業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
從前ノ法令中鑛業ニ對スル課税ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス但シ鑛業ニ對スル課税ニ關スル事項ニシテ本法施行前ニ屬スルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
鑛業法第九十九條ニ該當スル鑛業權ノ鑛區税ニ付テハ同法ノ規定ニ依ル鑛區ノ訂正アル迄仍從前ノ例ニ依リ鑛區税ヲ賦課ス
鑛業法第九十九條ニ該當スル鑛業權ノ鑛區税ニ付テハ同法ノ規定ニ依ル鑛區ノ訂正アリタル後ト雖本法第五條第二項ノ規定ヲ適用セズ

鑛業登録稅法

康德二年八月一日
勅令第八十八號

第一條 鑛業權又ハ租鑛權ニ關シ鑛業原簿ニ登録ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムベシ

- 一 鑛業權ノ設定 每一件 二百圓
- (一) 新規登録 每一件 五十圓
- (二) 鑛區合併

(三) 鑛區分割又ハ分合 設定鑛區 每一箇 五十圓

二 鑛業權ノ變更

(一) 鑛區訂正

甲 鑛業法第三十條ノ規定ニ依ルモノ 每一件 五圓

乙 鑛業法第四十一條及第四十二條ノ規定ニ依ルモノ 每一件 百圓

(二) 増區又ハ増減區 每一件 百圓

(三) 減 區 每一件 二十圓

三 鑛業權ノ移轉

(一) 相續其ノ他ノ一般承繼ニ因ル移轉 每一件 二十圓

(二) (一)以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 百圓

四 租鑛權ノ設定

(一) 新規登録 每一件 二百圓

(二) 鑛業法第三十八條第二項ニ基キ爲シタル承諾及協定ニ因ル設定 每一件 五圓

五 租鑛權ノ移轉

(一) 相續其ノ他ノ一般承繼ニ因ル移轉 每一件 二十圓

(二) (一)以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 百圓

六 抵當權ノ設定

(一) 新規登録 債權金額 千分ノ十

(二) 鑛業法第三十八條第二項ニ基キ爲シタル承諾及協定ニ因ル設定 每一件 五圓

七 抵當權ノ移轉

滿洲帝國鑛業法令

七九

- (一) 相續其ノ他ノ一般承繼ニ因ル移轉 每一件 五圓
- (二) (一)以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 十圓
- 八 共同鑛業權者又ハ共同租鑛權者ノ脱退 每一件 五圓
- 九 滯納處分以外ノ原因ニ因ル鑛業權ノ租鑛權又ハ抵當權ノ處分制限 債權金額千分ノ五
- 十 拋棄ニ因ル鑛業權又ハ租鑛權ノ消滅 每一件 五圓
- 十一 抹消シタル登録ノ回復 每一件 四十錢
- 十二 假登録 每一件 四十錢
- 十三 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 二十錢
- 第二條 登録ノ抹消又ハ錯誤若ハ遺漏ガ當該官吏ノ過誤ニ出デタルトキハ其ノ回復又ハ更正ノ登録ニ付テハ登録稅ヲ課セズ
- 第三條 登録稅ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムベシ
- 第四條 政府自己ノ爲ニスル登録ニハ登録稅ヲ課セズ

附 則

本法ハ鑛業登録令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業ニ關スル手数料ノ件

實業部令第十二號
農政部令第七號

鑛業ニ關スル出願、申請又ハ届出ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ收入印紙ヲ以テ手数料ヲ納付スベシ

一 鑛業出願

滿洲帝國鑛業法令

- (一) 單位區域ニ依ルモノ 每單位區域 八拾圓
 - (二) 單位區域ニ依ラザル 每百陌但シ百陌未滿ハ之ヲ百陌ト看做ス 四拾圓
- 二 鑛業出願區域ノ變更願
- (一) 増區又ハ増減區
 - 甲 單位區域ニ依ルモノ 増區域每單位區域 八拾圓
 - 乙 單位區域ニ依ラザルモノ 増區域每百陌但シ百陌未滿ハ之ヲ百陌ト看做ス 四拾圓
 - (二) 減區 每一件 拾圓
- 三 鑛業出願人ノ名義變更願
- (一) 相續其ノ他ノ一般 每一件 拾圓
 - (二) 承繼ニ因ル變更 每一件 拾圓
 - (三) (一)以外ノ原因ニ因ル變更 每一件 五拾圓
- 四 共同鑛業出願人ノ脱退願 每一件 拾圓
- 五 鑛區ノ變更願
- (一) 増區又ハ増減區
 - 甲 單位區域ニ依ルモノ 増區域每單位區域 八拾圓
 - 乙 單位區域ニ依ラザルモノ 増區域每百陌但シ百陌未滿ハ之ヲ百陌ト看做ス 四拾圓
 - (二) 減區
 - (三) 訂正
- 甲 鑛業法第三十條ノ規定ニ依ルモノ 每一件 五圓
- 八〇
- 乙 鑛業法第四十一條又ハ第四十二條ノ規定ニ依ルモノ
 - (一) 單位區域ニ依ルモノ 増區域每單位區域 四拾圓
 - (二) 單位區域ニ依ラザルモノ 増區域每百陌但シ百陌未滿ハ之ヲ百陌ト看做ス 貳拾圓
 - 六 鑛區ノ合併又ハ分割願 每一件 五拾圓
 - 七 鑛區ノ分合願 每一件 八拾圓
 - 八 鑛物ノ名稱更正願 每一件 拾圓
 - 九 鑛業法第三十三條第四項ノ規定ニ依ル鑛業權移轉申請 每一件 五拾圓
 - 十 鑛業法第四十三條ノ規定ニ依ル實地調査願 每一件 拾圓
 - 十一 鑛業法第五十九條第一項ノ認定願 每一件 拾圓
 - 十二 鑛業法第六十條第一項ノ認定願 每一件 二十圓
 - 十三 鑛業法第六十三條第一項ノ認定願 每一件 五拾圓
 - 十四 裁決申請 每一件 五拾圓
- 前項ノ規定ハ國ノ鑛業ニ付テハ之ヲ適用セズ
- 附則
本令ハ鑛業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業法第九條ノ規定ニ依ル國防上必要ナル鑛物ヲ目的トスル鑛業ノ出願ノ制限ニ關スル件

康徳二年一月一日 勅令第九十一號

康徳二年勅令第九十一號ノ鑛物ヲ發見シタル者ニ對スル處置方ニ關スル件

康徳二年一月一日 實業部令第十一號 蒙政部令第六號

左ニ掲グル鑛物ヲ目的トスル鑛業法第十六條ニ依ル出願ハ滿洲鑛業開發株式會社及政府ノ特ニ指定スル會社ヲ除クノ外之ヲ爲スコトヲ得ヌ

- 白金鑛、鉛鑛、亞鉛鑛、錫鑛、鐵鑛、アンチモニー鑛、アルミニウム鑛、ニッケル鑛、酸化鐵鑛、マンガン鑛、重石鑛、水鉛鑛、水銀鑛、黑鉛、石炭、石油(含油層ト密接ノ關係アル可燃質天然瓦斯ヲ含ム)、油母頁岩、マグネサイト、螢石、耐火粘土、硝石、滑石及石棉

附則

本令ハ鑛業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ存スル鑛業ノ出願ニシテ本令所定ノ鑛物ヲ目的トスルモノニ付テハ其ノ出願人ノ名義ハ本令施行ノ際滿洲鑛業開發株式會社ノ爲ニ變更アリタルモノト看做ス

鑛業登録令施行細則

鑛業登錄令施行細則

附 則

本令ハ康徳二年勅令第九十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
康徳二年勅令第九十一號附則第二項ノ規定ニ依リ其ノ出願名義ノ變更ヲ受ケタル者ハ本令ノ規定ニ依ル申請人ト看做シ鑛業ノ出願ヲ爲シタル順位ヲ以テ滿洲國鑛業開發株式會社ニ申出タルモノト看做ス

實業部令第二三號
蒙政部令第一九號

茲ニ鑛業登錄令施行細則ヲ左ノ通制定ス

康徳二年十月二十二日

實業部大臣 丁 鑑 修
蒙政部大臣 齊默特色木丕勒

鑛業登錄令施行細則

- 第一章 登錄ニ關スル帳簿
 - 第一條 鑛業原簿ハ第一號ノ格式ニ依リ鑛業監督署別ニ之ヲ調製ス
 - 第二條 鑛業原簿ハ一鑛區ニ付一用紙ヲ備フ
鑛區ガ鑛業原簿ヲ分設シタル數箇ノ鑛業監督署ノ管轄區域ニ跨ルトキハ其ノ一箇ノ鑛業監督署ノ鑛業原簿ニノミ其ノ鑛區ニ關スル用紙ヲ備フ
 - 第三條 鑛業權共同ノ名簿及租鑛權共同人名簿ハ第一號及第三號ノ格式ニ依リ之ヲ調製ス
 - 第四條 鑛區圖發込帳ハ各圖面ニ登錄番號年月日及鑛業地籍番號ヲ記載シ登錄番號ノ順序ニ依リテ編綴シ丁數ヲ附ス
 - 第五條 鑛業監督署ニハ登錄事務ニ關シ鑛業原簿鑛業權共同人名簿租鑛權共同人名簿及鑛區圖發込帳ノ外ニ左ノ帳簿ヲ備フ
- 一、登錄受附帳

- 二、申請書、嘱托書及附屬書類發込帳
- 三、通知書發込帳
- 四、通知簿
- 五、鑛業原簿發込帳
- 六、鑛業權、租鑛權及抵當權登錄濟通知簿
- 七、異議書類決定原本發込帳
- 八、原本又ハ抄本交付閱覽申請事件簿
- 九、原本又ハ抄本交付閱覽申請書發込帳
- 第六條 前條第四號及第六號ノ通知簿ニハ通知事項及其ノ年月日ヲ記入シ通知書ト契印ス
- 第七條 鑛業原簿ノ原本、抄本若ハ鑛區圖原本ノ交付又ハ鑛業原簿若ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ提出ス
- 一、申請人ノ氏名及住所
- 二、鑛區所在地及登錄番號又ハ鑛業地籍番號若ハ鑛區ヲ表示スルニ足ルベキ事項
- 三、申請ノ範圍
- 四、年月日
- 第八條 前條ノ申請アリタルトキハ第五條第八號ノ帳簿ニ請求ノ範圍、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シタル上相當ノ處分ヲ爲ス
- 第九條 鑛業原簿ノ原本ハ鑛業原簿ト同一格式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作成シ餘白アルトキハ之ニ朱線ヲ施シ其ノ末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ鑛業監督署長之ニ年月日ヲ記載

鑛業登錄令施行細則

- シテ記名捺印ス
- 此ノ原本ハ鑛業原簿ト相違ナキコトヲ認證ス
- 前項ノ規定ハ鑛區圖ノ原本及鑛業原簿ノ抄本ヲ作成スル場合ニ付之ヲ準用ス
- 第十條 鑛業原簿ノ原本、抄本又ハ鑛區圖ノ原本ヲ交付スルトキハ第五條第八號ノ帳簿ニ交付ノ年月日ヲ記載シ原本又ハ抄本ト契印ス
- 前項ノ規定ハ鑛業原簿ノ原本ヲ他ノ鑛業監督署ニ移送スル場合ニ付之ヲ準用ス
- 第十一條 鑛業監督署ノ管轄區域ノ一部分ガ他ノ鑛業監督署ノ管轄區域ニ轉屬シタルトキハ其ノ區域ニ於ケル鑛業權ニ關スル鑛業原簿ノ原本及附屬書類若ハ其ノ原本ヲ移送ス
- 第十二條 申請書其ノ他登錄ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫明瞭ナルベシ金錢其ノ他物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、肆、伍、拾等ノ文字ヲ用フ
- 文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ズ若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ除外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尙讀ミ得ベキ爲字體ヲ存ス
- 第二章 申請手續
- 第十三條 登錄申請書ガ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印ス但シ登錄權利者又ハ登錄義務者ガ多數ナルトキハ其ノ一入ノ契印ヲ以テ足ル
- 前項ノ規定ニ依ル契印ナキモノニ付テハ擔當職員ニ於テ契印ヲ爲ス
- 第十四條 抵當權設定ノ新規登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ

鑛業登録令施行細則

課税標準ノ價格ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ滞納處分以外ノ原因ニ因ル鑛業權租權又ハ抵當權ノ處分ノ制限ノ登録ヲ憑託スル場合ニ付テ之ヲ準用ス

第十五條

數箇ノ鑛業監督署ノ管轄區域内ノ數箇ノ鑛業權ニ對シ同一ノ登録原因ニ因ル抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニハ最初ニ登録ヲ申請スル鑛業監督署ニ登録稅ノ全額ヲ納付スベシ

前項ノ規定ニ從ヒ登録稅ヲ納付シタルトキハ擔當職員ハ登録ヲ申請スベキ鑛業監督署ノ數ニ應ジ登録稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スベシ但シ二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スベシ
申請人ガ他ノ鑛業監督署ニ登録ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證ヲ添付スベシ

第三章 登録手續

第十六條

申請書ヲ提出アリタルトキハ登録受附帳ニ登録ノ目的申請人ノ氏名、受附ノ年月日及受附番號ヲ、申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ申請人ガ郵便ニ依リ申請スル場合ニ於テハ其ノ郵便物ノ到達ガ執務時間外ニ係ルトキハ郵便物ノ表面ニ登録申請ナルコトヲ明記シタルモノニ限リ其ノ到達ノ時ヲ以テ受附ノ時ト看做ス

前項ノ規定ニ依リ受附番號ハ受附ノ順序ニ依リ之ヲ附スベシ但シ同一ノ鑛業權租權又ハ抵當權ニ關シ同時ニ數箇ノ申請アリタルトキハ同一ノ受附番號ヲ附スベシ

トキハ同一ノ受附番號ヲ附スベシ
第一項ノ規定ニ依リ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ登録權利者又ハ登録義務者多數ナルトキハ代表者又ハ筆頭者ノ氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

前項ノ規定ハ登録稅納付書ノ提出アリタル場合ニ付テ之ヲ準用ス

第十七條

登録番號欄ニハ各鑛區ニ付鑛業原簿ニ登録ヲ爲シタル順序ヲ記載スベシ

表示欄ニハ鑛業權ノ表示並其ノ變更、消滅及鑛業法第十八條但書ノ規定ニ該當シ鑛區ノ重複シタル場合ニ於ケル鑛業權ノ制限ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登録事項ヲ記載シタル順序ヲ記載スベシ

甲區事項欄ニハ鑛業權ノ設定、移轉、處分ノ制限及共同鑛業權者ノ脱退ニ關スル事項ヲ、乙區事項欄ニハ鑛業權ヲ目的トスル抵當權ノ設定變更、移轉、消滅及處分ノ制限ニ關スル事項ヲ、丙區事項欄ニハ租權權ノ設定、變更、移轉、消滅及處分ノ制限ニ關スル事項ヲ、丁區事項欄ニハ租權權ヲ目的トスル抵當權ノ設定、變更、移轉消滅及處分ノ制限ニ關スル事項ヲ、順位番號欄ニハ事項欄ニ登録事項ヲ記載シタル順序ヲ記載スベシ

第十八條

表示欄ニ登録ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、登録ノ目的、其ノ他鑛業權ノ表示ニ關スル事項並登録ノ年月日ヲ記載シテ擔當職員捺印スベシ
事項欄ニ登録ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、登録權利者ノ氏名、住所、登録原因及其ノ日附、登録ノ目的、其ノ他登録スベキ權利ニ關スル事項並登録ノ年月日ヲ記載シテ擔當職員捺印スベシ

鑛業登録令第十八條ノ規定ニ依リ申請アリタル場合ニ於テ事項欄ニ登録ヲ爲スニハ前項ノ規定ニ依リノ外債權者ノ氏名及住所並代位原因ヲ記載スベシ

第十九條

表示欄ニ登録ヲ爲スニハ表示番號欄ニ番號ヲ、事項欄ニ登録ヲ爲スニハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スベシ

第十六條第二項但書ノ規定ニ依リ同一ノ受附番號ヲ附シ同一ノ事項欄ニ登録ヲ爲スモノニ付テハ同一ノ順位番號ヲ記載スベシ

第二十條

表示欄ニ登録ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及表示欄ニ縦線ヲ劃シ事項欄ニ登録ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及事項欄ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スベシ

第二十一條

附記登録ノ順位番號ヲ記載スルニハ主登録ノ番號ヲ用ヒ其ノ番號ノ左側ニ附記何號ト記載スベシ

第二十二條

附記ニ依リ鑛業權又ハ租權權ノ處分ノ制限ノ登録ヲ爲ストキハ鑛業權若ハ租權權ノ設定又ハ移轉ノ登録番號ヲ以テ其ノ順位番號ト爲スベシ

第二十三條

假登録ハ登録用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲シ其ノ左側ニ餘白ヲ存スベシ

第二十四條

假登録ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ縦線ヲ劃シ其ノ左側ニ本登録ヲ爲シ得ベキ相當ノ餘白ヲ存シタル上順位番號欄及事項欄ニ縦線ヲ劃スベシ

第二十五條

假登録ヲ爲シタル後本登録ノ申請アリタルトキハ假登録ノ左側ニ本登録ノ爲シ得ベキ相當ノ餘白ヲ存シタル上順位番號欄及事項欄ニ縦線ヲ劃スベシ

鑛業登録令施行細則

錄ノ左側ノ餘白ニ其ノ登録ヲ爲スベシ假登録ノ抹消ノ申請アリタルトキ亦同ジ

第二十六條

豫告登録ハ鑛業登録令第五十九條第一號ニ關スルモノニ付テハ登録用紙中相當區事項欄ニ、同條第二號ニ關スルモノニ付テハ表示欄ニ之ヲ爲スベシ

第二十七條

變更又ハ更正ノ登録ヲ爲スニハ其ノ登録ニ因リテ變更又ハ更正セラレタル登録事項ヲ抹消スベシ

第二十八條

登録ヲ完了シタルトキハ登録原因ヲ證スル書面ニ登録番號、申請書受附ノ年月日、順位番號、登録ノ年月日及登録濟ノ旨ヲ記載シ鑛業監督署長ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ登録權利者ニ還付シ且登録義務者ニ登録番號、登録ノ原因及其ノ日附、登録ノ目的、申請書受附ノ年月日、順位番號、登録濟ノ旨ヲ記載シ鑛業監督署長ノ印ヲ捺捺シタル書面ヲ交付スベシ

法令ノ規定ニ依リ職權ヲ以テ爲ス登録又ハ申請ニ登録原因ヲ證スル書面ヲ要セザルモノノ登録ノ場合ニ於テハ、前項ニ準ジ作成シタル登録濟通知書ニ鑛業監督署長ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ登録權利者ニ交付スベシ但シ鑛業權ノ設定、變更又ハ表示ノ變更ニ關スル場合ニ於テハ鑛區圖ヲ添付スベシ

鑛業登録令第十三條ノ場合ニ於テハ第一項ノ書面ハ登録ヲ憑託シタル官廳又ハ公署ニ送附シ其ノ官廳又ハ公署ハ速ニ之ヲ登録權利者ニ交付スベシ強制執行又ハ抵當權ノ實行ニ因ル鑛業權又ハ租權權ノ移轉ノ登録ヲ完了シタルトキ亦同ジ

前三項ノ場合ニ於テ登録權利者又ハ登録義務者多數ナルトキハ其ノ一人ニ交付スルヲ以テ足ル

鑛業登録令施行細則

第二十九條 鑛業登録令第十八條ノ申請アリタル場合ニ於テ登録ヲ完了シタルトキハ前條第一項ニ掲ゲタル書類ヲ價權者ニ還付シ且前條第一項ニ準ジ作成シタル登録済通知書ニ鑛業監督署長ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登録權利者ニ交付スベシ

第三十條 鑛業權消滅ノ登録ヲ爲シタル後登録回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登録ヲ爲スニハ登録用紙中登録番號欄ニ新ナル番號ヲ其ノ左側ニ前登録番號ヲ表示欄ニ回復ノ原因ヲ記載シ其ノ消滅前ノ登録ト同一ノ登録ヲ爲スベシ

前項規定ハ鑛業權ノ取消處分ノ取消ノ通知アリタル場合ニ付之ヲ準用ス

第三十一條 前條第一項ニ規定シタル場合ヲ除クノ外登録回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登録ヲ回復スルトキハ回復ノ登録ヲ爲シタル後更ニ抹消ニ係ル登録ト同一ノ登録ヲ爲シ若シ登録事項ノ一部ノミガ抹消ニ係ルトキハ附記ニ依リ更ニ其ノ事項ヲ登録スベシ

第三十二條 租鑛權設定ノ登録ヲ爲ス場合ニ於テ申請書ニ租鑛權ノ存續期間ノ記載ナキトキハ之ヲ十年トシテ登録スベシ申請書ニ二十年以上ノ存續期間ノ記載アルトキハ之ヲ二十年トシテ登録スベシ

第三十三條 第十一條ニ依リ鑛業原簿謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ鑛業監督署長ハ其ノ謄本ニ依リ鑛業原簿ニ登録ヲ移スベシ
鑛業原簿ヲ移ストキハ登録用紙中登録番號欄ニ新ナル番號ヲ其ノ左側ニ前登録番號ヲ記載スベシ

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及事項欄ニ移シタル登録ノ末尾ニ鑛業原簿ノ謄本ニ依リ登録ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ鑛業監督署員捺印スベシ

第三十四條 登録用紙中部又ハ區ガ登録ヲ爲スベキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登録番號欄ニ前用紙ノ登録番號ヲ轉寫シ其ノ左側ニ第二ナルコト、前用紙ヲ編綴セル鑛業原簿ノ冊數、丁數及其ノ綴綴用紙ナル旨ヲ記載シ且前用紙ノ登録番號ノ左側ニ第一ナルコト、新用紙ヲ編綴セル鑛業原簿ノ冊數、丁數及之ニ綴綴セル旨ヲ記載スベシ但シ前用紙中其ノ餘白アルモノニ付テハ仍之ニ記載スベシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ綴綴用紙ヲ設ケタル場合ニ付之ヲ準用ス

第三十五條 鑛業權ノ設定、變更又ハ表示ノ變更ノ登録ヲ爲ス場合ニ於テハ登録用紙中表示欄ニ爲シタル登録ノ末尾ニ鑛業區綴込帳ノ冊數及丁數ヲ記載スベシ

第三十六條 鑛業權ノ設定又ハ移轉ノ登録ヲ爲ス場合ニ於テ登録權利者多數ナルトキハ代表者ノ氏名及住所並代表者ノ氏名ヲ鑛業權共同人名簿ニ記載スベシ

共同鑛業權者代表者ノ變更ノ届出又ハ指定アリタルトキハ前項ニ準ジテ其ノ登録ヲ爲シタル後前代表者ノ表示ヲ抹消スベシ

第三十七條 前條ノ規定ニ依リ鑛業權共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號欄ニ番號ヲ代表者欄ニ代表者ノ氏名及住所ノ届出又ハ指定ノ年月日ヲ共同人名簿ニ共同鑛業權者ノ氏名及住所ノ簡略欄ニ登録番號ヲ付テハ其ノ登録用紙中表示欄ニ鑛業法第十八條但書ニ該當スル鑛業權ノ登録番號ヲ表示シ之ト重複ノ關係ヲ有スル旨ヲ記載スベシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ一箇ノ鑛業權消滅シタルトキハ之ト重複ノ關係ヲ有スル他ノ鑛業權ノ登録用紙中表示欄ニ其ノ鑛業權ノ消滅シタル旨ヲ記載シ消滅ニ係ル登録事項ヲ抹消スベシ

第一項ノ場合ニ於テ鑛業區ノ合併、分割又ハ併合ニ因リ鑛業權消滅ノ登録ヲ爲ストキハ前項ノ手續ヲ爲スノ外合併、分割又ハ併合ニ因リ設定セラレタル新ナル鑛業權ノ登録番號ヲ表示シ之ト重複ノ關係アルコトヲ記載スベシ

第三十八條 數箇ノ鑛業權ガ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ一箇ノ鑛業權ニ付抵當權設定ノ登録ヲ爲ストキハ其ノ鑛業權ノ登録用紙中乙區事項欄ニ他ノ鑛業權ノ登録番號及鑛業區所在地ヲ表示シ其ノ鑛業權ガ共ニ抵當權ノ目的タル旨ヲ記載スベシ

第三十九條 追加抵當權設定ノ登録ヲ爲シタルトキハ同一債權ニ因リ抵當權ノ目的タル他ノ鑛業權ノ登録用紙中乙區事項欄ニ追加抵當權ノ目的タル鑛業權ノ登録番號及鑛業區所在地ヲ表示シ其ノ鑛業權ガ共ニ抵當權ノ目的タル旨ヲ記載スベシ

第四十條 抵當權ノ目的タル鑛業權ガ追加抵當權ノ目的タル鑛業權ト同一鑛業監督署ノ管轄ニ屬セザルトキハ追加抵當權ノ設定ノ登録ヲ爲シタル鑛業監督署長ハ他ノ鑛業監督署長ニ追加抵當權ノ設定ノ事由及登録年月日並鑛業權ノ登録番號及鑛業區所在地ヲ通知スベシ

前項ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタルトキハ前條ノ規定ニ準ジテ其ノ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スベシ

鑛業登録令施行細則

號及順位番號ヲ記載シテ擔當職員捺印スベシ

第三十八條 共同鑛業權者ノ表示ノ變更、更正又ハ脱退ニ付鑛業原簿ニ登録ヲ爲シタルトキハ鑛業權共同人名簿中備考欄ニ登録ノ目的タル新ナル事項及其ノ順位番號ヲ記載シ擔當職員捺印シ前ニ記載シタル事項ヲ抹消スベシ

第三十九條 前三條ノ場合ニ於テ代表者欄又ハ備考欄ニ餘白ナキニ至リタルトキハ新ニ番號欄ニ前番號ヲ轉寫シ其ノ左側ニ第一ナルコト、前用紙ヲ編綴セル鑛業權共同人名簿ノ冊數、丁數及其ノ綴綴用紙ナル旨ヲ共同人名簿ニ共同鑛業權者ノ氏名ヲ記載シ且前用紙ノ番號ノ左側ニ第一ナルコト、綴綴用紙ヲ編綴セル鑛業權共同人名簿ノ冊數、丁數及之ニ綴綴セル旨ヲ記載シ且前用紙ノ登録番號ノ左側ニ第一ナルコト、綴綴用紙ヲ編綴セル旨ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ綴綴用紙ヲ用フル場合ニ付之ヲ準用ス

第四十條 鑛業權共同人名簿ニ記載ヲ爲シタル場合ニ於テハ鑛業原簿ニ爲シタル登録ノ末尾ニ鑛業權共同人名簿ニ於ケル番號ヲ記載スベシ

第四十一條 鑛業權共同人名簿ニ共同鑛業權者ノ氏名及住所ノ記載ヲ爲シタルトキハ共同人名簿ニ於ケル末尾ノ綴綴番號欄、代表者欄及備考欄ニ延長シテ餘白ト分界スベシ

第四十二條 第三十六條乃至第四十一條ノ規定ハ租鑛權共同人名簿ノ記載ニ付之ヲ準用ス

第四十三條 鑛業法第十八條但書ノ規定ニ依リ鑛業權ノ設定又ハ變更ノ登録ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載シ且他ノ鑛業權ノ登録番號ヲ表示シテ之ト重複ノ關係ヲ有スル旨ヲ記載シ他ノ鑛業權ニ

鑛業登錄令施行細則

第四十七條 數箇ノ鑛業權ガ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ一箇ノ鑛業權又ハ抵當權ノ消滅ノ登錄ヲ爲シタルトキハ他ノ鑛業權ノ登錄用紙中乙區事項欄ニ其ノ抵當權ノ消滅シタル旨ヲ附記シ消滅ニ係ル登錄事項ヲ抹消スベシ

第四十八條 前條ノ場合ニ於テ鑛業權ノ消滅ガ數箇ノ合併、分割又ハ分合ニ因ルモノナルトキハ前條ノ手續ヲ爲スノ外鑛業登錄令第三十條ニ依リテ新ニ設定セラレタル鑛業權ノ登錄番號及鑛區所在地ヲ表示シ其ノ鑛業權ガ共ニ抵當權ノ目的タル旨ヲ記載スベシ

第四十九條 第四十六條ノ規定ハ鑛業登錄令第二十條ノ規定ニ依リテ新ニ設定セラレタル抵當權ニ付テ之ヲ準用ス

第五十條 數箇ノ鑛業監督署ノ管轄ニ屬スル數箇ノ鑛業權ガ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ一箇ノ鑛業權又ハ抵當權ノ消滅ノ登錄ヲ爲シタルトキハ鑛業監督署長ハ關係鑛業監督署長ニ消滅ノ事由及登錄ノ年月日ヲ通知スベシ

第五十一條 第四十四條乃至第五十條ノ規定ハ租額權及租額權ノ目的トスル抵當權ニ付テ之ヲ準用ス

第五十二條 登錄ヲ抹消スルニハ抹消ノ登錄ヲ爲シタル後抹消スベキ登錄ヲ抹消スベシ

第五十三條 鑛業法第三十三條ノ規定ニ基キテ爲シタル競賣ニ因ル鑛業權移轉ノ登錄ノ屬託アリタル場合ニ於テハ第三十條ノ規定ニ準ジ登錄ヲ爲シタル後移轉ノ登錄ヲ爲スベシ

前項ノ場合ニ於テハ前登錄用紙ノ表示欄ニ新登錄用紙ニ登錄ヲ爲

シタル旨ヲ記載スベシ

第五十四條 本令ニ於テ鑛業監督署又ハ鑛業監督署長トアルハ興安各省内ノ旗制ヲ施行スル地域ニアリテハ興安各省公署又ハ興安各省長トス

附 則

本令ハ鑛業登錄令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號格式

鑛業原簿	第何册
何鑛業監督署	何鑛業監督署
紙數表紙ヲ除キ	枚
何鑛業監督署長	何 某 印
年 月 日	

部 題 表		番 號	登 錄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄

區 甲		番 號	登 錄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄

區 乙		番 號	登 錄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄

鑛業登錄令施行細則

第二號格式

區 丙		番 號	登 錄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄

區 丁		番 號	登 錄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄
	番 號	表 示	欄
	事 項	表 示	欄

鑛業權共同人名簿	第何册
何鑛業監督署	何鑛業監督署

鑛業登録令施行細則

第三號格式

九〇

紙數表紙ヲ除キ	枚
何鑛業監督署長	何 某
印	
年 月 日	

番號	代表者欄	共同人名欄	備考

番號	代表者欄	共同人名欄	備考

租鑛權共同人名簿	第何册
何鑛業監督署	

紙數表紙ヲ除キ	枚
何鑛業監督署長	何 某
印	
年 月 日	

番號	代表者欄	共同人名欄	備考

番號	代表者欄	共同人名欄	備考